

# TestComplete 15 ライセンス ドキュメント

TestComplete を使用するには、TestComplete のモジュール (Desktop、Web、または Mobile) の 1 つ以上の評価版ライセンスまたは製品版ライセンスが必要です。

TestComplete 15.40 には、次の 2 種類のライセンスがあります。

- SmartBear ID ベース ライセンス キーを使用せずに、SmartBear アカウント を指定して製品を実行する新しいライセンスです。
- キーベース SmartBear から提供されるライセンス キーを使用する従来のライ センスです。ライセンス キーをマシンに適用してライセンスをアクティベートす るか、ネットワーク内のライセンス サーバーからライセンス キーによって付与さ れるライセンスを消費します。

### ライセンスの種類を確認するには?

SmartBear ID ベース ライセンスは、2021 年 8 月 (TestComplete 14.92) から早期ア クセス機能として一部のユーザーに提供されています。2022 年 4 月 (TestComplete 15.40) からは、評価版、製品版ともに、このライセンスが主流となっています。2022 年 4 月 (TestComplete 15.40) 以降に製品を購入した場合、デフォルトでは SmartBear ID ベース ライセンスが発行されます。

## 目次

TestComplete ライセンスについて	4
TestComplete ライセンスのアクティベート	8
SmartBear ID ベース ライセンス	11
TestComplete のアクティベートと使用	15
CI/CD ビルド実行時の TestComplete のアクティベート	22
プライベート ネットワークでの評価版のアクティベート	24
クラウドと仮想マシンでの使用	25
ライセンス シートの解放	25
プライベート ネットワークでのライセンスの使用	29
プライベート ネットワークでの Fixed User (固定ユーザー) ライセンスの	
アクティベート	30
プライベート ネットワークでの Floating (フローティング) ライセンス	
シートの取得	36
オフライン Fixed User (固定ユーザー) ライセンスの解放	41
オフライン Floating (フローティング) ライセンスの解放	45
キーベース ライセンス	46
ライセンス システムについて	46
TestComplete ライセンスの種類	50
緊急用ライセンス キー	53
ライセンスのアクティベート	54
評価版ライセンスのアクティベート	54
Node-Locked (ノードロック) ライセンスのアクティベート	57
Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスのアクティベート	61
手動アクティベート手順	68
追加ライセンスのアクティベート	73
評価版の申し込み	75
ライセンスのアップグレード	77
既存の TestComplete 15 ライセンスのアップグレード	78
既存ライセンスのアップグレードの購入とアクティベート	81
以前のバージョンからのアップグレード	83
License Update Available	84
ライセンスの更新	86

TestComplete 15 ライセンス ドキュメント

ライセンスを更新する必要がある場合	87
TestComplete 評価版から製品版への更新	87
ライセンス アップグレードに伴うライセンスの更新	89
ハードウェア変更に伴うライセンスの更新	89
オペレーティング システムの再インストールまたはアップグレードに伴う	
ライセンスの更新	91
ライセンスのアクティベート解除と移動	92
ハウツー	98
一般的な質問	99
ライセンスの種類の理解	99
TestComplete モジュールとアドオンの実行	101
仮想マシンでの TestComplete の使用	101
大規模な組織でのインストール	104
WAN での TestComplete の使用	105
オフィス間でのライセンスの共有	106
VPN での TestComplete の使用	107
リモート デスクトップ サービスでの TestComplete の使用	107
クラウド マシンでの TestComplete の使用	108
ライセンス使用統計の表示	111
License Manager の操作	112
License Manager の制御	112
リモート マシンからの License Manager の設定	113
License Manager 設定へのアクセスをパスワードで保護	114
接続する License Manager の指定	116
License Manager に接続可能なユーザーの指定	117
License Manager に接続しているユーザーの表示	120
License Manager からのユーザーの切断	120
お問い合わせ先	122

## TestComplete ライセンスについて

ライセンスの種類によって、ライセンスのアクティベート、使用、管理の方法が異なり ます。

## TestComplete ライセンスの種類

TestComplete には、次の2種類のライセンスがあります。

- SmartBear ID ベース TestComplete 14.92 で導入された新しいライセンス です。製品をアクティベートして使用するには、SmartBear アカウントを指定し ます。このアカウントがない場合は、作成する必要があります。アカウントの設定 を表示して管理するには、新しい SmartBear ライセンス管理ポータル (https://manage.smartbear.com)を使用します。
- キーベース 従来のライセンスです。製品をアクティベートするには、ライセンス キーを指定するか、ローカル ネットワーク内で動作するライセンス マネージャーからライセンスを取得します。

### ライセンスの種類を確認するには?

ライセンスの種類は、製品の購入後に SmartBear から受け取ったメールに記載されてい ます。

または、製品のバージョンと日付から確認することもできます。TestComplete は、2021 年8月 (TestComplete 14.92) から一部の評価版ユーザーを対象に ID ベース ライセン スの発行を開始しました。2022年4月 (TestComplete 15.40) からは、評価版、製品版 ともに、このライセンスが主流となっています。2022年4月以降に製品を購入した場合、 デフォルトでは SmartBear ID ベース ライセンスが発行されます。

## 既存ユーザーの ID ベース ライセンス

次の表は、ID ベース ライセンスとキーベース ライセンスの違いを理解するのに役立ちます。

機能	ID ベース	キーベース	
アクティベート 方法	ユーザーは SmartBear アカウン トのメール アドレスとパスワード を指定します。	ユーザーは SmartBear からライ センス キーを取得して、このキー を使用してマシンでライセンスを アクティベートします。	
マシンへのバイ ンド	ライセンスは、マシンではなく、 ユーザーにバインドされます。 ユーザーは簡単にマシンを切り替 えることができます。	ライセンスは、ワークステーショ ンまたはサーバーにバインドされ ます。 別のマシンでアクティベートする には、現在のマシンでアクティ ベート解除する必要があります。	
ライセンス サブ タイプ	キーベース ライセンスには、Node-locked(ノードロック)と Floating User(フローティング ユーザー)があります。ID ベース ライセンスには、Fixed User(固定ユーザー)と Floating(フローティ ング)があります。これらのライセンスの扱いはやや異なります。		
複数のマシンで の使用	Fixed User (固定ユーザー) およ び Floating (フローティング) ラ イセンスの両方でサポートされて います。	Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスのみ、簡単 にマシンを切り替えることができ ます。	
	非常に簡単にマシンを切り替える ことができます。別のマシンで製 品を使用するには、現在のマシン で製品を終了するだけです。	Node-locked (ノードロック) ライ センスでは、マシンを切り替える 前にライセンスを解除する必要が あります。	
クラウドと仮想 マシンでの使用	Fixed User (固定ユーザー) およ び Floating (フローティング) ラ イセンスの両方でサポートされて います。	Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスで可能です。 ローカル ネットワーク内の物理マ シンにスタンドアロンのライセン ス サーバーをインストールして、 このライセンス サーバーに接続す る必要があります。	

機能	ID ベース	キーベース
使用状況の管理	SmartBear ライセンス サーバー にアクセスできる場合: Fixed User ライセンス と Floating ライセンスはどちらも SmartBear ライセンス サーバー で管理されます。 プライベート ネットワークを使用 している場合: Fixed User: TestComplete イン スタンスのライセンス サブシステ ムで管理されます。 Floating: ネットワーク内で動作す るオンプレミスのライセンス サー バーで管理されます。	Node-Locked (ノードロック): ユーザーの TestComplete インス タンスのライセンス サブシステム で管理されます。 Floating User (フローティング ユーザー): ローカル ネットワー ク内で動作するスタンドアロンの ライセンス サーバーで管理され ます。
プライベート ネットワークで の動作	Fixed User (固定ユーザー) および Floating (フローティング) ライセ ンスの両方でサポートされていま す。ライセンスのアクティベート には、 SmartBear ライセンス ポータルへの接続が必要です。	サポートされています。ライセン ス の ア ク テ ィ ベ ー ト に は 、 SmartBear ライセンス サーバー への接続が必要になることがあり ます。
<b>ユーザーの管理</b> (Floating (フ ローティング) ライセンス)	SmartBear ライセンス ポータル またはネットワークにインストー ルされているオンプレミスのライ センス サーバーで管理されます。	スタンドアロンのライセンス サー バーで管理されます。

## ライセンス スキームの変更

TestComplete の個々のモジュールでは、キーベース ライセンスまたは ID ベース ライセンスのいずれかを使用する必要があります。異なるライセンスの種類を同時に使用することはできません。

キーベース ライセンスで開始して ID ベース ライセンスに切り替えたり、その逆は可能 です。ライセンス スキームを変更するには、**[Help]** メニューの項目を使用します。 キーベース ライセンスを使用している場合 ID ベース ライセンスを使用している場合は、 Licensing] を選択します。

は、[Switch to SmartBear ID-Based [Switch to Key-Based Licensing] を選択し ます。



ライセンス スキームを変更後、ライセンスをアクティベートする必要があります。

#### 関連情報

⇒ SmartBear ID ベース ライセンス

⇒ キーベース ライセンス

## TestComplete ライセンスのアクティ ベート

TestComplete を使用するには、アクティベートする必要があります。TestComplete の 1 つまたは複数のモジュール (Desktop、Web、または Mobile) のライセンスを所有でき ます。ID ベースとキーベースのライセンスがあります (両者の違いは「TestComplete ラ イセンス」を参照)。

どちらのライセンスも、アクティベートするには TestComplete を起動します。 TestComplete はマシン上のライセンス情報を検索し、見つからない場合は、製品をアク ティベートするように促します。ライセンスの種類に応じて、表示されるダイアログと手 順が異なります。

ダイアログ ボックス			説明
	×		SmartBear アカウン
			トの認証情報の入力を
Log in to TestComplete with your SmartBear account			求められます。この
Email			ダイアログ ボックス
			は、ID ベース ライセ
			ンスが SmartBear
			ライセンス ポータル
			で割り当てられて
Forgot password?			いる場合に表示され
New to SmartBear? Create Account			ます。アクティベート
			手順については、
Log In with GitHub			「TestComplete の
By logging in, you agree to our			アクティベートと使用
Terms of Use and Privacy Policy			(ID ベース ライセン
			ス)」を参照してくだ
		I	さい。

ダイア	<b>゚</b> ログ ボックス	説	明
TestC	Complete × Failed to connect to the SmartBear server. Cannot obtain the IP address of the SmartBear server. → Try again → Troubleshoot the Internet connection	<b>説</b> ID がマラ にん	ng ベース ライセンス 想定されますが、 シンが SmartBear イセンス サーバー アクセスできませ 。この場合、ライセ
<u>ن</u> <u>تط</u>	<ul> <li>→ Use the SmartBear Offline license</li> <li>→ Bind TestComplete to the On-Premise server</li> <li>→ Enter my regular key-based license key</li> <li>→ Close TestComplete</li> </ul>	ンにベロサさオスの	スを「オフライン」 変換してアクティ ートします (製品や ーカルのライセンス ーバーによって管理 れるライセンスは <b>フライン</b> ライセン であり、Web 上の
		うス管はン「トスく	サーバーによって 理されるライセンス オンライン ライセ スです)。詳細は、 プライベート ネッ ワークでのライセン の使用」を参照して ださい。

ダイアログ ボックス		説明
TestComplete Unable to find an activated license for TestComplete 15.	×	ライセンス キーの入 力を求められます。 このダイアログ ボッ
→ Activate a Node-Locked license If you have a Node-Locked license		インスタンスがキー
→ Find a Floating User license If your company has a Floating User license		ベース ライセンスを 使用している場合に表
→ Request trial If you are a new user		示されます。詳細は、 「 <b>ライセンスのアク</b>
→ Restore the lost license If the license was bound to hardware that is not available anymore		<b>テイベート</b> 」を参照し てください。
→ Use a SmartBear ID-based license A new license type by SmartBear		
→ Close application		

## SmartBear ID ベース ライセンス

このトピックは、TestComplete 14.9 で導入された SmartBear ID ベース ライセンスに 関するものです。バージョン 15.40.0 では、従来のキーベース ライセンスも引き続き利 用できます。キーベース ライセンスについては、「キーベース ライセンス」を参照して ください。

## SmartBear ID とは

SmartBear ID ベース ライセンスは、TestComplete 14.92 で導入された新しいライセン スです。従来のライセンスと比較して、より信頼性が高く、便利にご利用いただけます。 移行をよりスムーズに行うため、早期アクセス機能として一部のユーザーに提供されてい ました。2022 年 4 月 (TestComplete 15.40) からは、評価版、製品版ともに、このライ センスが主流となっています。2022 年 4 月 (TestComplete 15.40) 以降に製品を購入し た場合、デフォルトでは SmartBear ID ベース ライセンスが発行されます。既存のキー ベース ライセンスは、引き続きこれまで通りご利用いただけます。

## SmartBear ID と新しいライセンス管理システムを使用 する理由

- 一元化されたオンライン ポータルでチームの TestComplete、TestExecute、 または両方のライセンスを簡単に管理できます。
- TestComplete と TestExecute は、Amazon や Microsoft Azure (Microsoft ホストエージェントを含む) などの仮想環境やクラウド環境に、制限なくインストールして使用できます。静的 IP は必要ありません。
- TestComplete と TestExecute は、ハードウェアの制限なく、任意の物理ネット ワークにインストールして使用できます。

### 基本事項

 製品をアクティベートして使用するには、SmartBear アカウント (アカウント または ID – メール アドレスとパスワード)を指定する必要があります。このアカ ウントがない場合は、作成する必要があります。SmartBear の Web サイトから TestComplete の評価版を申し込むと、自動的にアカウント (または ID) が作成さ れます。お客様は、評価版を申し込む前でも、後でも、いつでもアカウントを作成 できます。 製品を使用するには、この ID があれば十分で、ライセンス ファイルをインストールしたり、ライセンス キーを入力する必要はありません。

- インストール後に TestComplete を初めて起動すると、SmartBear アカウントの 入力を求められます。その後、SmartBear ライセンス サーバー (以下を参照) に 接続して、アカウントに TestComplete とモジュールのライセンスがあるかどう か確認します。ライセンスが検出されると、その機能が有効になります。 TestComplete は SmartBear ID の情報を保存するため、次回製品を起動する際 に認証情報を入力する必要はありません。
- ID ベースのアクティベートは、任意の物理マシン、仮想マシン、またはクラウド マシンで使用できます。

製品を複数のマシンにインストールして、同じ SmartBear アカウントで簡単にマ シンを切り替えて作業することが可能です。現在のマシンで製品を終了するだけで、 別のマシンでライセンスを利用できるようになります。

同時に使用できる製品インスタンスの数はライセンスで設定されています。

- 新しいライセンスは、個人ユーザーとエンタープライズ ユーザーの両方に適しています。後者では、ライセンス管理者 (SmartBear ライセンス ポータルでライセンスの割り当て、解放、管理を行う権限があるお客様側の担当者) が SmartBear ライセンス ポータルでチーム メンバーにライセンス シートを割り当てます。
- TestComplete は、ヘッドレス マシンや CI/CD ビルドでライセンスを使用するための特別なコマンドライン引数をサポートしています。

## ライセンス サブタイプ

ID ベース ライセンスには、Fixed User (固定ユーザー) と Floating (フローティング) が あります。両者の違いは、ライセンス シートの割り当てと管理方法にあります。詳細は、 『SmartBear ライセンス ポータル ドキュメント』を参照してください。

#### 要件

現在、ライセンスの使用に関するすべての管理は、24 時間 365 日利用可能な SmartBear ライセンス サーバーによって行われています。TestComplete を実行しているマシンは、 このサーバーに常時アクセスできる必要があります。つまり、ネットワークで動作してい るプロキシやファイアウォールが、このサーバーへの接続を許可している必要があります。

- https://manage.smartbear.com:443
- https://api.slm.manage.smartbear.com:443

TestComplete 15 ライセンス ドキュメント

ネットワークの不具合が発生した場合でも、TestComplete は原因を把握し、システム管理者が問題を解決するのに十分な時間、機能を維持することができます。

#### SmartBear ID の取得方法

#### 既存ユーザーの場合

新しい ID ベース ライセンスをお試しになりたい方はご連絡ください。

#### 新規ユーザー (評価版ユーザー) の場合

SmartBear の Web サイトで TestComplete の評価版を申し込むと、新しい ID ベース ライセンスを取得できます。このライセンスは、A/B テストの一環として一部の評価版 ユーザーを対象に発行しています。

⇒ 無料評価版を申し込む

評価版を申し込む際には、メール アドレスを指定します。そのメール アドレスに SmartBear ID が関連付けられていない場合は、自動的に新しい ID を作成します。すで にメール アドレスに ID が関連付けられている場合は、新しい **ID は作成されません**。

キーベースの評価版ライセンスを受け取った方で、ID ベース ライセンスを希望される方は、カスタマー ケア チームまでご連絡ください。

### プライベート ネットワークでの使用

グローバル Web に接続されていないプライベート ネットワークで作業する場合、マシン は SmartBear ライセンス サーバーにアクセスできません。SmartBear では、このよう な状況でも ID ベース ライセンスを使用できるように、特別な「オフライン」ライセンス を提供しています。SmartBear ライセンス ポータルで製品版の Fixed User ライセンスや Floating ライセンスを「オフライン」に変換し、特別な方法でプライベート ネットワーク 上でアクティベートできます。詳細は、「プライベート ネットワークでのライセンスの使 用」を参照してください。

プライベート ネットワークで TestComplete 評価版を使用するには、従来のキーベース ライセンスを取得する必要があります。詳細は、「プライベート ネットワークでの評価版 のアクティベート」を参照してください。

## TestComplete でこれらのライセンスを使用する方法

「TestComplete のアクティベートと使用」を参照してください。

## クラウドや仮想マシンで ID ベース ライセンスを使用でき ますか?

はい。ただし、Floating (フローティング) ライセンスを選択する必要があります。また、 クラウドや仮想マシンは、SmartBear ライセンス サーバーにアクセスできる必要があり ます (上記を参照)。

## インストール時の ID ベース ライセンスのアクティベート

現在、TestComplete は ID ベース ライセンスとキーベース ライセンスの両方をサポート しています。ユーザーがライセンスの種類を選択する手間を省き、簡単に使い始められる ように、システム管理者は製品のインストール時に ID ベース ライセンス モードを有効に することができます。ユーザーは TestComplete を起動する際に SmartBear ID (メール アドレスとパスワード) を入力する必要があり、その後、製品を使用することができます。

ID ベース ライセンスをアクティブなライセンス モードにするには、TestComplete イン ストーラーのコマンドラインで -SLM 引数を指定して実行します。次のコマンドを実行す ると、TestComplete がサイレント モードでインストールされ、ID ベース ライセンスが 有効になります。

TestComplete1540\_Release.exe -SLM -silentmode

TestComplete インストーラーのコマンドライン引数については、「TestComplete を サイレント モードでインストールする」を参照してください。

## ライセンスの管理

SmartBear ID とライセンスは、SmartBear ライセンス管理ポータルで管理できます。

https://manage.smartbear.com

#### 制限事項

現在、SmartBear ライセンス管理システムはクラウド型サービスとしてのみ提供されています。つまり、インターネット経由で SmartBear ライセンス サーバーにアクセスする必要があります。

ネットワークがインターネットに接続できない場合は、従来のキーベース ライセンスを 使用してください。お使いの製品バージョンで SmartBear ID ベース ライセンスがデフォ ルトで有効な場合は、カスタマー ケア チームまでご連絡ください。

## ライセンスに関する詳細情報

SmartBear ID ベース ライセンスの詳細は、『ライセンス ポータル ドキュメント』を 参照してください。

#### お問い合わせ先

新しいライセンスについてのご質問やサポートが必要な場合は、エクセルソフト株式会社の下記のお問い合わせページからお気軽にご連絡ください

https://www.xlsoft.com/jp/services/xlsoft\_form.html

## TestComplete のアクティベートと使用

このトピックは、TestComplete 14.9 で導入された SmartBear ID ベース ライセンスに 関するものです。バージョン 15.40.0 では、従来のキーベース ライセンスも引き続き利 用できます。キーベース ライセンスについては、「キーベース ライセンス」を参照して ください。

TestComplete 14.9 から、一部のユーザー向けに新しい SmartBear ID ベース ライセン スの提供を開始しました。この新しいライセンスでは、製品を使用するには SmartBear アカウント (または SmartBear ID) を指定する必要があります。これは、ライセンス ファイルをダウンロードしてインストールする従来のライセンスと比較して、製品を簡単 に便利な方法で利用できます。以下は、新しいライセンスの適用に関する説明です。

## SmartBear アカウントの作成方法

SmartBear の Web サイトから TestComplete の評価版を申し込むと、自動的にアカウントが作成されます。そして、通知メッセージが電子メールで送付されます。このメールに記載されているリンクからアカウントのパスワードを設定してください。

**注意:** 評価版の申し込みフォームで入力されたメール アドレスに対してアカウントが作成されます。入力されたメール アドレスにすでにアカウントが関連付けられている場合、新しいアカウントは作成されません。

アカウントを取得したら、製品で指定することができます(以下を参照)。

## システム要件

新しいライセンスは、SmartBear オンライン ライセンス サーバーによって管理されます。 TestComplete を実行するマシンは、このサーバーにアクセスできる必要があります。 ネットワークで動作しているプロキシやファイアウォールが、このサーバーへの恒久的な 接続を許可している必要があります。

- https://manage.smartbear.com:443
- https://api.slm.manage.smartbear.com:443

これらのサーバーにアクセスできないプライベート ネットワークで作業する場合でも、ID ベース ライセンスを使用できますが、オフラインに変換する必要があります。詳細は、 「プライベート ネットワークでのライセンスの使用」を参照してください。

### 評価版ライセンス

#### オプション1-Webサイトから評価版を申し込む

この場合、TestComplete の評価版は特別なアクティベートを必要としません。ダウン ロードしてインストールしたら、実行できます。評価版のインストールには、実行に必要 なすべてのデータが含まれています。評価版を申し込んだ際に作成された SmartBear アカウントが使用されます。

作成された SmartBear アカウントに関するメールが、入力されたメール アドレスに送付されます。このメールに記載されているリンクからアカウントのパスワードを設定してください。

#### オプション 2 – アプリケーションから評価版を申し込む

TestComplete のモジュール (Desktop、Web、または Mobile) の製品版ライセンスを所 有している場合、別のモジュールの評価版を申し込むことができます。使用しているライ センスに応じて、申し込み方法が異なります。

#### キーベース ライセンスを使用している場合

現在、ほとんどの製品版ライセンスはキーベースです。そのため、最初に ID ベース ライセンスに変更する必要があります。メイン メニューから [Help] > [Switch to SmartBear ID-based Licensing] を選択します。



ID ベース ライセンスに変更すると、TestComplete は SmartBear ID 認証情報 (メール アドレスとパスワード)の入力を求めます。まだ SmartBear アカウント をお持ちでない場合は、このダイアログから作成できます。

2. SmartBear ID を入力すると、TestComplete はライセンスの有無を確認します。

SmartBear アカウントに TestComplete ライセンスが割り当てられていない場合、 TestComplete は評価版に関するメッセージを表示します。



モジュールのライセンスを所有している場合は、ここでアクティベートできます。 ほかのモジュールの評価版を申し込むには、TestComplete ウィンドウの右上で ② をクリックして、評価するモジュールの **[Start trial]** をクリックします。

		<b>A</b>
	bourti23 bouri26bouri26ouri	Log Out
PPORT	Modules & Licenses	
JECT	TestComplete Desktop Module	30 days left Disable Buy Mayage License
	TestComplete Web Module	30 days left Disable Day Manage License
RE	TestComplete Mobile Module	Start Trial Buy
	TestComplete Intelligent Quality Add-On	30 days left Disable Day Manage License

#### ID ベース ライセンスを使用している場合

モジュールの評価版を申し込むには、TestComplete ウィンドウの右上で <sup>(2)</sup> をクリックして、評価するモジュールの [Start trial] をクリックします。

		<b>A</b>
	bouri?) bau/Nika/Nikari	Log Out
PPORT	Modules & Licenses	
JECT	TestComplete Desktop Module	30 days left Disable Buy Maysge License
PE	TestComplete Web Module	30 days left Disable Buy Monage License
KE	TestComplete Mobile Module	Start Trial Buy
	TestComplete Intelligent Quality Add-On	30 days left Disable Duy Manage License

## 製品版ライセンス

ID ベース ライセンスには、Fixed User (固定ユーザー) と Floating (フローティング) が あります (詳細は、『SmartBear ライセンス管理ドキュメント』を参照)。以下のアク ティベート手順は、Fixed User (固定ユーザー) ライセンスと Floating (フローティング) ライセンスの両方で利用できます。

#### 1. 管理者の手順 — エンドユーザーへのライセンスの割り当て

ライセンスの購入時に、チーム メンバーのライセンスの使用と割り当てを管理するライセンス管理者を指定します。

ライセンス管理者は、SmartBear ライセンス ポータルで作業を行います。

https://manage.smartbear.com

ライセンスの割り当ての詳細は、『SmartBear ライセンス管理ドキュメント』を参照して ください。

チーム メンバーが SmartBear アカウントを所有していない場合、ライセンス管理者が メンバーをポータルに招待してアカウントを取得できます。招待する際は、個人のメール アドレスではなく、会社のメール アドレスを使用することが重要です。

必要に応じて、ライセンス管理者は自分自身にライセンスを割り当てることができます。

#### 2. ユーザーの手順

#### 1. アカウント作成の完了

ライセンス管理者が SmartBear アカウントを持っていないチーム メンバーにライセンス を割り当てると、ライセンス ポータルはそのメンバーに招待メールを送信します。この メールにはポータルへのリンクが記載されています。[Follow this link] からポータルに アクセスして、SmartBear アカウントのパスワードを入力し、アカウントの作成を完了し ます。その後、ポータルから製品のインストーラーをダウンロードすることができます。

すでに SmartBear アカウントを持っているメンバーには招待メールは送信されません。 代わりに、割り当てられたライセンスに関する通知が送信されます。

#### 2. TestComplete のインストール

- 1. TestComplete インストーラーをダウンロードします。
  - a. ポータルにログインします。

https://manage.smartbear.com

b. 割り当てられている製品とライセンスを見つけます。 🚣 をクリックして、 ダウンロードするバージョンを選択します。

٤	TestComplete Web Module			
P	erpetual Licenses			
١	Fixed User Licenses		^	
	License Number A Curr Vers	nt Licensed Maintenance Seats on Expiration		
	<ul> <li>TEDM-FX-00004130</li> </ul>		×	
	Users 🔺	Download Product		
	john.smith@mycompany.com	Operating System	×	
		Windows 👻		
		Product Version		
		14.73.382		
		Licensed: TestComplete Web Module		
		Release Date: Jan 27, 2021		
		File Name: TestComplete1473.exe		
		Cancel Download		

 マシンが SmartBear ライセンス サーバーにアクセスできることを確認します (上記の「システム要件」を参照)。 ダウンロードしたインストーラーを実行して、インストール ウィザードの指示に 従います。

インストールが完了すると、自動的に TestComplete が実行され、アクティベートするように求められます。

#### 3. TestComplete のアクティベート

- 1. まだ製品を起動していない場合は起動します。
- 2. SmartBear アカウントのメール アドレスとパスワードを入力するダイアログ ボックスが表示されたら、これらの情報を入力します。

Log in to ReadyAPI with your SmartBear account Email John smith@mycompany.com		Log in to ReadyAPI with your SmartBo John.smith@mycompany.com Not your email?	ear account
Continue		Los le	
Forgot password?	-	Log in	
New to SmartBear? Create Account		Forgot password?	
C Log In with GitHub		New to SmartBear? Create Account	
By logging in. you agree to our		By logging in, you agree to our Terms of Use and Privacy Policy	, ,

TestComplete は、SmartBear アカウントにライセンスが割り当てられているか どうかを確認します。以降の手順は、ライセンスの有無により異なります。

ライセンスが検出された場合、何もする必要はありません。そのライセンスシートを消費して製品を使用できます。

TestComplete は認証情報を保存するため、製品を起動するたびに認証情報を 入力する必要はありません。

• ライセンスが検出されなかった場合、TestComplete はその旨を通知し、可能 な解決策を提案します。

## CI/CD 実行時のアクティベート

TestComplete の評価版ライセンスと製品版ライセンスの両方を自動実行に使用できます。 SmartBear ライセンス ポータルからライセンスの API キーをコピーして、 TestComplete コマンドラインで指定します。詳細は、「CI/CD ビルド実行時の TestComplete のアクティベート」を参照してください。

## プライベート ネットワークでのアクティベート

ID ベース ライセンスは Web 上の SmartBear ライセンス サーバーで管理されます。 プライベート ネットワークで作業する場合、SmartBear ライセンス サーバーを利用でき ないことがほとんどです。このような状況で TestComplete を使用するには、Fixed User または Floating ライセンスを「オフライン」に変換し、特別な方法でアクティベートする 必要があります。詳細は、Fixed User (固定ユーザー) または Floating (フローティング) ライセンスの詳しい手順を参照してください。

### 役立つリンク

- ⇒ SmartBear ID ベース ライセンスについて
- ⇒ ユーザー向け SmartBear ライセンス ポータル
- ⇒ プライベート ネットワークでの評価版のアクティベート
- ⇒ プライベート ネットワークでのライセンスの使用
- ⇒ ライセンス シートの解放

## CI/CD ビルド実行時の TestComplete のアクティベート

このトピックは、TestComplete 14.9 で導入された SmartBear ID ベース ライセンスに 関するものです。バージョン 15.40.0 では、従来のキーベース ライセンスも引き続き利 用できます。キーベース ライセンスについては、「キーベース ライセンス」を参照して ください。

#### 概要

CI/CD ビルドから TestComplete を実行することは、コマンドラインから起動することを 意味します。 TestComplete 15 ライセンス ドキュメント

実行に使用する SmartBear アカウントを指定するには、SmartBear ライセンス ポータ ルでアカウント用に生成されたアクセス キーを使用します。

以下の説明は、SmartBear ID ベース ライセンスの Fixed User (固定ユーザー) と Floating (フローティング) に適用されます。

#### 要件

テストを実行するマシンは、SmartBear ライセンス サーバーにアクセスできる必要があ ります。ネットワークで動作しているプロキシやファイアウォールが、このサーバーへの 接続を許可している必要があります。

- https://manage.smartbear.com:443
- https://api.slm.manage.smartbear.com:443

## 1. アクセス キーの取得

SmartBear ライセンスポータルにログインして、右上から [Acess Key] を選択します。



必要に応じて、いつでもキーを再生成できます。再生成するには、[Regenerate]を クリックするだけです。 ライセンス ポータル ドキュメントの「アクセス キーの取得」も参照してください。

### 2. コマンドラインでキーを指定

-accessKey コマンドライン パラメーターを使用してキーを指定します。

■ アクセス キーは二重引用符で囲んでください。

テスト エンジンは、アクセス キーをマシンにキャッシュしないため、実行するたびに指 定する必要があります。

## プライベート ネットワークでの評価版の アクティベート

現在、SmartBear アカウントで TestComplete をアクティベートして使用するには、 マシンが SmartBear ライセンス サーバーにアクセスできる必要があります。

プライベート ネットワークはグローバル Web から隔離されているため、Web にアクセ スするにはシステム管理者の特別な許可が必要になる場合があります。別の方法として、 従来のキーベース ライセンスを使用できます。

1. ライセンス キーについては、お問い合わせください。

⇒ ライセンスに関するヘルプ

2. TestComplete のメインメニューから [Help] > [Switch to Key-Based Licensing] を選択してライセンス スキームを変更し、画面の指示に従います。

マシンが Web に接続されていないため、手動アクティベート手順に従います。 詳細は、「手動アクティベート手順」を参照してください。

## クラウドと仮想マシンでの使用

このトピックは、TestComplete 14.9 で導入された SmartBear ID ベース ライセンスに 関するものです。バージョン 15.40.0 では、従来のキーベース ライセンスも引き続き利 用できます。キーベース ライセンスについては、「キーベース ライセンス」を参照して ください。

クラウドや仮想マシンで TestComplete を実行するには:

• Floating (フローティング) ライセンスを使用する必要があります。Fixed User (固定ユーザー) ライセンスは仮想マシンでは使用できません

Fixed User (固定ユーザー) ライセンスを所有している場合は、アップグレードに ついてお問い合わせください。

- クラウドや仮想マシンは、SmartBear ライセンス サーバー (グローバル Web) に アクセスできる必要があります。
  - https://manage.smartbear.com:443
  - https://api.slm.manage.smartbear.com:443

仮想マシンをローカル ネットワークで実行している場合は、ネットワークで動作 しているプロキシやファイアウォールが、このサーバーへの接続を許可している必 要があります。

Fixed User ライセンスは、Hyper-V が有効な物理マシンでは利用できません。 TestComplete を実行するには、Floating (フローティング) ライセンスを使用するか、 Hyper-V を無効にしてください。手順については、Microsoft の Web サイトを参照して ください。

⇒ Hyper-V を無効にする方法

## ライセンス シートの解放

このトピックは、TestComplete 14.9 で導入された SmartBear ID ベース ライセンスに 関するものです。バージョン 15.40.0 では、従来のキーベース ライセンスも引き続き利 用できます。キーベース ライセンスについては、「キーベース ライセンス」を参照して ください。

ここでは、Web 上の SmartBear ライセンス サーバーで管理されるオンライン ID ベース ライセンスを解放する方法を説明します。プライベート ネットワークで作業する場合、オ フライン ライセンスを使用しますが、その解放方法は異なります。詳細は、「オフライン Fixed User ライセンスの解放」と「オフライン Floating ライセンスの解放」を参照して ください。

## ライセンス シートの解放方法

Fixed User (固定ユーザー) ライセンスと Floating (フローティング) ライセンスはどちら も TestComplete を異なるマシンで実行できます。

TestComplete でテストの作成や実行などの作業している間、あるいは TestComplete を 開いているだけでも、ライセンス シートを消費します。

TestComplete を別のマシンで使用するには、現在のマシンで TestComplete を終了する 必要があります。いくつかの終了方法があります。

## オプション1 — TestComplete を閉じる

TestComplete を閉じると、ライセンス シートが解放され、別のマシンで使用可能になります。

TestComplete は SmartBear アカウントの情報をマシンに保存するため、同じマシンで 次回製品を起動する際にメール アドレスとパスワードを入力する必要はありません。

## オプション 2 ー ログアウト

TestComplete ウィンドウの右上でプロファイル アイコンを右クリックして、**[Log Out]** をクリックします。

		<b>A</b>
	house(2) heus/Telleus/Teleusi	
PPORT	Modules & Licenses	
JECT	TestComplete Desktop Module	30 days left Disable Buy Manage License
	TestComplete Web Module	30 days left Disable Buy Manage License
RE	TestComplete Mobile Module	Start Trial Buy
	TestComplete Intelligent Quality Add-On	30 days left Disable Buy Manage License

確認メッセージが表示されたら、[Yes] をクリックします。

これで、TestComplete からログオフされ、ライセンス シートが解放されます。 TestComplete は SmartBear アカウントに関する情報を削除するため、次回製品を起動 する際にメール アドレスとパスワードを指定する必要があります。

### オプション 3 — 個別のモジュール ライセンスの解放

TestComplete ウィンドウの右上でプロファイル アイコンを右クリックして、ライセンス を解放するモジュールの **[Disable]** をクリックします。

		4 8
	bouri??) teu/fi@eu/fileuri	Log Out
PPORT	Modules & Licenses	$\langle$
JECT	TestComplete Desktop Module	30 days left Disable Buy Manage License
	TestComplete Web Module	30 days left Disable Buy Manage License
RE	TestComplete Mobile Module	Start Trial Buy
	TestComplete Intelligent Quality Add-On	30 days left Disable Buy Manage License

これで、選択したモジュールのライセンス シートが解放されます。ライセンス システム にはログインしたままです。

### オプション 4 ー 管理者による解放

ライセンス管理者 (SmartBear ライセンス ポータルでライセンスの割り当て、解放、管理 を行う権限があるお客様側の担当者) は、SmartBear ライセンス ポータルでチーム メン バーのセッションを中断してライセンス シートを解放したり、ライセンスの割り当てを取 り消すことができます。これらの操作が行われると、TestComplete は実行を停止し、そ のメンバーに通知メッセージが表示されます。

管理者がライセンス セッションを中断した場合は、製品を再度実行してライセンスの消費 を試みることができます。

ライセンスが取り消された場合は、ライセンス管理者が再度ライセンスを割り当てない限り、製品を使用できません。

## プライベート ネットワークでのライセン スの使用

このトピックは、TestComplete 14.9 で導入された SmartBear ID ベース ライセンスに 関するものです。バージョン 15.40.0 では、従来のキーベース ライセンスも引き続き利 用できます。キーベース ライセンスについては、「キーベース ライセンス」を参照して ください。

## オフライン ライセンスとオンライン ライセンスについて

デフォルトでは、TestComplete ライセンスは Web 上の SmartBear ライセンス サー バーで管理されます。TestComplete はこれらのサーバーに接続して、ライセンスが利用 可能かどうかを確認します。

プライベート ネットワークは、通常グローバル Web からロックされているため、プライ ベート ネットワークで作業する場合、これらのライセンス サーバーを利用できないこと がほとんどです。このようなネットワークでも TestComplete を利用できるようにするた め、SmartBear は特別な「オフライン」ライセンスを提供しています。ライセンス管理者 (SmartBear ライセンス ポータルでライセンスの割り当て、解放、管理を行う権限がある お客様側の担当者) は、Fixed User (固定ユーザー) または Floating (フローティング) ラ イセンスを「オフライン」に変換し、TestComplete がインストールされているマシンや ネットワーク内のオンプレミスのライセンス サーバーでライセンスをアクティベートでき ます。詳細は、以下のリンクを参照してください。

「オフライン」ライセンスはプライベート ネットワーク内のサーバーで管理され、デフォ ルトの「オンライン」ライセンスは、オンラインの SmartBear ライセンス サーバーで管 理されます。

**ヒント:** 可能な限り、オンライン ライセンスを使用することをお勧めします。プライ ベート ネットワークで作業する場合、マシンが SmartBear ライセンス サー バーにアクセスできるように、ネットワーク管理者に相談してみてください。

### オフライン ライセンスのアクティベート

- ⇒ Fixed User (固定ユーザー) ライセンス
- ⇒ Floating (フローティング) ライセンス

TestComplete 評価版のアクティベートについては、「プライベート ネットワークでの評価版のアクティベート」を参照してください。

## 注意

- オフライン ライセンスは、アクティベートしたマシンにバインドされます。
  - Fixed User (固定ユーザー) オフライン ライセンスはユーザーのワークステー ションにバインドされます。
  - Floating (フローティング) オフライン ライセンスはオンプレミスのライセン ス サーバーにバインドされます。

別のマシンにライセンスを移動して使用するには、現在のマシンでライセンスをア クティベート解除する必要があります。詳細は、「オフライン Fixed User ライセ ンスの解放」と「オフライン Floating ライセンスの解放」を参照してください。

必要に応じて、ライセンス管理者 (SmartBear ライセンス ポータルでライセンスの割り当て、解放、管理を行う権限があるお客様側の担当者) は SmartBear ライセンス サーバーで管理できるように、「オフライン」ライセンスを「オンライン」に戻すことができます。

## プライベート ネットワークでの Fixed User (固定ユーザー) ライセンスのアクティベート

このトピックは、TestComplete 14.9 で導入された SmartBear ID ベース ライセンスに 関するものです。バージョン 15.40.0 では、従来のキーベース ライセンスも引き続き利 用できます。キーベース ライセンスについては、「キーベース ライセンス」を参照して ください。

#### 概要

SmartBear では、SmartBear ライセンス サーバーにアクセスできないマシンで利用でき る特別な「オフライン」ライセンスを提供しています。「オフライン」ライセンスは、 「オンライン」の SmartBear ライセンス サーバーではなく、ローカルのライセンス サブ システムで管理されるライセンスです。 以下は、Fixed User (固定ユーザー) オフライン ライセンスのアクティベート手順です。 ライセンス ユーザー (TestComplete を実行して使用する人) は、いくつかのステップの 実行にライセンス管理者 (SmartBear ライセンス ポータルでライセンスの割り当て、 解放、管理を行う権限があるお客様側の担当者) のサポートが必要です。

### 要件 (ライセンス管理者向け)

- オフライン ライセンスはデフォルトで無効になっています。有効にするには、 ライセンス管理者 (SmartBear ライセンス ポータルでライセンスの割り当て、 解放、管理を行う権限があるお客様側の担当者)からサポート窓口にご連絡くだ さい。
- ライセンス ポータルでオフライン ライセンスが有効になった後、ライセンス管理 者はライセンスをオフラインに変換する必要があります。

詳しい手順は、 ライセンス ポータルのドキュメントに記載されています。

## アクティベート手順 (ユーザーとライセンス管理者向け)

1. TestComplete を起動します。TestComplete はデフォルトでキーベース ライセ ンスを使用します。そのため、マシン上のキーベース ライセンスを検索して、 次のようなメッセージを表示します。[Use a SmartBear ID-based license] を 選択します。これで TestComplete が ID ベース ライセンスに切り替わります。



次のステップは、マシンが SmartBear ライセンス サーバーにアクセスできるかどうかに応じて異なります。

 Web 上の SmartBear ライセンス サーバーにアクセスできる場合、 TestComplete は次のログイン フォームを表示します。右上の × をクリック して閉じます。

Email		
Forgot passwo	ord?	
New to Smai	rtBear? Create Account	

次のダイアログ ボックスが表示されます。[Use the Offline license] をク リックします。

TestComplete	×
You have not specified your SmartBear ID. You can do any of the following:	
ightarrow Enter my key-based license key	
$\rightarrow$ Use the Offline license	
ightarrow Bind TestComplete to the On-Premise server	
→ Close TestComplete	
Tell me more	

 オンラインの SmartBear ライセンス サーバーにアクセスできない場合、 TestComplete は次のようなダイアログ ボックスを表示します。[Use the SmartBear Offline license] をクリックします。



2. [Install Offline license] ダイアログが表示されます。

lnstall Offline license	×	
If you want to use an offline license, you must give your machine fingerprint to your In turn, you must insert the response from the licensing server in the field below.	system administrator.	
Pass this data to you license administrator to acquire your license key.		
ex. BCD0 Start Starting and Analytics and Constructing Starting and the starting of the Starting St		
The second s	~	
Save to File	Copy to Clipboard	
Enter your license key here:		
	^	
	~	
Load from File	Apply	

マシンのフィンガープリント (識別情報) には、ライセンス サーバーがマシンに ライセンスをバインドするための特定のデータが含まれます。

フィンガープリントをコピーして、ライセンス管理者に渡す必要があります。この データはファイルにコピーするか、クリップボードにコピーすることができます。 ファイルにコピーする場合は、ファイルをライセンス管理者に渡します。クリップ ボードにコピーする場合は、メッセージ ツールやメールでライセンス管理者に送 信できます。

[Install Offline license] ダイアログは開いたままにします。

- ライセンス管理者は、SmartBear ライセンス ポータルでマシンのフィンガープリ ントをアップロードして、ライセンス データを取得する必要があります。詳しい 手順は、ライセンス ポータルのドキュメントに記載されています。以下は、ライ センス データ取得手順の概要です。
  - a. SmartBear ライセンス ポータルにログインします。

https://manage.smartbear.com

ライセンス管理者の認証情報を使用します。

b. ポータルでライセンスを見つけ、[Assign Offline License] をクリックしま す (このボタンはライセンスをオフラインに変換した場合のみ利用可能です)。

次のダイアログボックスが表示されます。

	$\times$
Assign Offline License	
License: TCD-IX-DOCUTTIN, TestComplete Desktop Module Fixed User Subscription Subscription expires on Jul 31, 2024	
Seats available: 3 of 3	
To assign the license:	
1. On the user's computer, generate a fingerprint file. ③	
2. Upload the fingerprint file here or insert its content below:	
A Drag the file here, or select it	
3. Download the license file and then pass it to the user's computer. ⑦	

Cancel Download the File and Assign the License

 c. フィンガープリント ファイルをアップロードするか、フィンガープリント データをダイアログ ボックスに挿入します。[Download the File and Assign the License] をクリックしてライセンス データを取得します。

	×
Assign Offline License	
License: TCD-DC DOCUTTER, TestComplete Desktop Module Fixed User Subscription Subscription expires on Jul 31, 2024	
Seats available: 3 of 3	
To assign the license:	
1. On the user's computer, generate a fingerprint file.	
2. Upload the fingerprint file here or insert its content below:	
fingerprint-data-file 🛞	
<b>3.</b> Download the license file and then pass it to the user's computer. ⑦	
Cancel Download the File and Assign the License	

- d. ライセンス データをネットワーク内のライセンス ユーザーに渡します。
  - ライセンス管理者がポータルで [Download the File and Assign the License] をクリックすると、ライセンスがフィンガープリント データにバインドされます。つまり、フィンガープリントが指定する マシンにライセンスがバインドされます。このライセンスは、別のマ シンでアクティベートすることはできません。別のマシンでアクティ ベートするには、最初にアクティベート解除する必要があります。
- 4. TestComplete の **[Install Offline license]** ダイアログでライセンス データ ファイルをアップロードするか、ライセンス データを挿入します。**[Apply]** を クリックします。

\$ Install Offline license	×
If you want to use an offline license, you must give your machine fingerprint to your system administrator. In turn, you must insert the response from the licensing server in the field below.	
Pass this data to you license administrator to acquire your license key.	
	<u>`</u>
Save to File Copy to Clipboard	
Inter your license key here:	~

#### 注意

Fixed User (固定ユーザー) オフライン ライセンスをアクティベートすると、ライセンス はマシンにバインドされます。このライセンスを別のマシンで使用する場合、最初にライ センスを解放する必要があります。詳細は、「Fixed User (固定ユーザー) ライセンスの削 除」を参照してください。

## プライベート ネットワークでの Floating (フ ローティング) ライセンス シートの取得

このトピックは、TestComplete 14.9 で導入された SmartBear ID ベース ライセンスに 関するものです。バージョン 15.40.0 では、従来のキーベース ライセンスも引き続き利 用できます。キーベース ライセンスについては、「キーベース ライセンス」を参照して ください。

#### 概要

SmartBear では、SmartBear ライセンス サーバーにアクセスできないマシンで利用でき る特別な「オフライン」ライセンスを提供しています。「オフライン」ライセンスは、
TestComplete 15 ライセンス ドキュメント

「オンライン」の SmartBear ライセンス サーバーではなく、ローカルのライセンス サブ システムで管理されるライセンスです。

Floating (フローティング) オフライン ライセンスを使用するには、ネットワーク内に オンプレミスのライセンス サーバーをインストールします。ユーザーのワークステーショ ンで実行している TestComplete は、このライセンス サーバーに接続してライセンス シートを消費します。以下は、この手順です。ライセンス ユーザー (TestComplete を実 行して使用する人) は、いくつかのステップの実行にライセンス管理者 (SmartBear ライ センス ポータルでライセンスの割り当て、解放、管理を行う権限があるお客様側の担当 者) のサポートが必要です。

### 1. ライセンス管理者の手順

- SmartBear ライセンス ポータルにライセンス管理者 (SmartBear ライセンス ポータルでライセンスの割り当て、解放、管理を行う権限があるお客様側の担当 者) としてログインします。
- ネットワーク内のオンプレミスのライセンス サーバーのダウンロード、インストール、および設定を行います。これがローカルのライセンス ポータルになります。
- Floating (フローティング) ライセンスをオフラインに変換します。
- オンプレミスのライセンス サーバーでライセンスをアクティベートします。

詳しい手順は、SmartBear ライセンス ポータルのドキュメントを参照してください。

オンプレミスのライセンス サーバーは、複数の SmartBear ライセンスを処理できます。 すでにネットワーク内にオンプレミスのライセンス サーバーがある場合は、ダウンロード、 インストール、および設定の手順をスキップして、ライセンスの変換とアクティベートを 行ってください。

#### 2. ユーザーの手順

 TestComplete を起動します。TestComplete はデフォルトでキーベース ライセンスを使用します。そのため、マシン上のキーベース ライセンスを検索して、次のようなメッセージを表示します。[Use a SmartBear ID-based license] を 選択します。これで TestComplete が ID ベース ライセンスに切り替わります。



次のステップは、マシンが SmartBear ライセンス サーバーにアクセスできるかど うかに応じて異なります。

 Web 上の SmartBear ライセンス サーバーにアクセスできる場合、 TestComplete は次のログイン フォームを表示します。右上の × をクリックして 閉じます。

Email		
orgot passwo	ord?	
New to Sma	rtBear? Create Account	

次のダイアログ ボックスが表示されます。[Bind TestComplete to the On-Premise server] をクリックします。

StestComplete		×
You have not speci You can do any of t	ified your SmartBear ID. the following:	
$\rightarrow$ Enter my key-b	oased license key	
ightarrow Use the Offline	license	
ightarrow Bind TestComp	lete to the On-Premise server	
→ Close TestCom	plete	
Tell me more		

 オンラインの SmartBear ライセンス サーバーにアクセスできない場合、 TestComplete は次のようなダイアログ ボックスを表示します。[Bind TestComplete to the On-Premise server] をクリックします。



• 次のダイアログ ボックスが表示されます。

SmartBear On-Premise server setup	$\times$
Input your On-Premise license server URL. Your system administrator can provide it. Example: 'http://111.222.111.222:40892/.	
http://192.168.10.50:40892	
Apply	

オンプレミスのライセンス サーバーの IP アドレスとポート番号を入力します。 例:

http://192.168.1.20:40892

40892 はデフォルトのポート番号です。このライセンス サーバーがインストール されているマシンで TestComplete を実行する場合、マシン名に localhost を 使用できます。たとえば、次のようにアドレスを指定できます。

http://localhost:40892

[Apply] をクリックして、指定したライセンス サーバーにアクセスし、ライセン ス シートを消費します。

その他の操作は、オンプレミスのライセンス サーバーの設定に応じて異なります。 ドメイン ユーザー名とパスワードを入力する必要がある場合もありますが、 TestComplete は自動的に Windows アカウントを使用して認証を試みます (つまり、TestComplete は認証情報を要求しません)。サーバーの設定については、 オンプレミスのライセンス サーバーの管理者にお問い合わせください。

ライセンス サーバーでライセンスが割り当てられると、TestComplete はライセンス シートを消費し、通知メッセージを表示します。利用可能なシートがすべて 使用されている場合、対応する通知が表示されます。

#### 注意

オフライン Floating (フローティング) ライセンスは、ユーザーのマシンではなく、オン プレミスのライセンス サーバーが実行されているマシンにバインドされます。

ユーザーのマシンのライセンスを解放するには、そのマシンの TestComplete を閉じます。

# オフライン Fixed User (固定ユーザー) ライ センスの解放

このトピックは、TestComplete 14.9 で導入された SmartBear ID ベース ライセンスに 関するものです。バージョン 15.40.0 では、従来のキーベース ライセンスも引き続き利 用できます。キーベース ライセンスについては、「キーベース ライセンス」を参照して ください。

### ライセンスを解放する理由

オフライン Fixed User (固定ユーザー) ライセンスをアクティベートすると、SmartBear ライセンス サーバーはライセンスをマシンにバインドします。このライセンスは、別のマ シンで使用することができません。TestComplete インスタンスを別のマシンに移動する 場合、最初に現在のマシンのライセンスを解放する必要があります。詳細は以下を参照し てください。

#### 要件

ライセンスを解放するには、ライセンス管理者のサポートが必要です。ライセンス管理者は、Web 上の SmartBear ライセンス サーバーで操作を行う必要があります。

### 1. ユーザーの手順

1. TestComplete を起動します。右上のユーザー プロファイル アイコンをクリック して、[Detach offline license] を選択します。これによりライセンスの解放処 理が開始されます。

		×
		<b>↓ ◎</b>
	avkuzin SB-RU-AKUZIN	Detach Offline license Log Out
RT	Modules & Licenses	
r	Desktop module	Disable
RECE	Web module	Disable
	Mobile module	Disable
	Intelligent Quality add-on	Disable

ー度に複数のライセンスを解除することも可能です。たとえば、1 つの TestComplete モジュールのライセンスと、別のモジュールのライセンスを保有し ているとします。この場合、TestComplete はアクティベート解除するライセンス を選択するダイアログ ボックスを表示します。ライセンスを選択して続行します。

Detach Offline license	×
TestComplete Desktop Module - Floating License	~
Includes: TestComplete - Desktop module	
	Detach

2. 次のダイアログ ボックスで [Detach offline license] をクリックします。

Detach 'TestComplete PRO	Bundle Fixed User Subscription' Offline license	>
WARNING! After you press the button below them and pass to your license a	v, you offline licenses will be removed from the product. Be dministrator.	sure that you save
Pass this data to you license adr	ninistrator or eturn your license key.	
Ē	Decach omine license	
		~
Save to File	Co	py to Clipboard

次の処理が行われます。

- マシンからライセンス データが削除されます。
- マシンとライセンスに関する情報を含むフィンガープリント データが生成されます。
  - フィンガープリント データをファイルに保存してクリップボードにコピー し、ライセンス管理者に**渡します**。ライセンス管理者は、このデータを SmartBear ライセンス ポータルにアップロードして、ライセンスの解放 処理を完了する必要があります。以下の手順を参照してください。

フィンガープリント データをライセンス管理者に渡した後、このダイアログ ボックスと TestComplete を閉じます。そして、アンインストールできます。

### 2. ライセンス管理者の手順

#### 要件

Web 上の SmartBear ライセンス ポータルで作業します。プライベート ネットワークで 作業する場合は、ポータルにアクセス可能なマシンが必要です。

#### 手順

1. SmartBear ライセンス ポータルにライセンス管理者としてログインします。

https://manage.smartbear.com

2. ポータルでオフライン Fixed User (固定ユーザー) ライセンスを見つけ、 🕑 [Free Offline License] をクリックします。

Ę	TestComp	lete Pro Bundle		+	^
Sul	oscription License	es			
F	ixed User Licenses	5			^
I	license Number 🔺	Expiration	Seats		
	<ul> <li>TC-FX-00033509</li> </ul>	Jun 30, 2024	1 of 1	ar 2	8.
	Machine Name	Product Version			
	ALYCE-COMP	15.40.331.7		-D @	

3. 次のダイアログ ボックスで、ライセンス ユーザーから受け取ったフィンガープリ ント ファイルをアップロードして、[Upload the File and Free the Seat] を クリックします。ライセンス データベースが更新されます。

			×
Free O	ffline License		
License:	TC-FX-00033509, Subscription expi	TestComplete PRO Bundle Fixed User Subscription ires on Jun 30, 2024	
Seats ava	ailable: 0 of 1		
To Free a	License Seat:		
1. On the	user's computer, f	ree the license. 🕐	
2. Upload	the license file he	re or insert its content below:	
ය Dr	op files here or s	elect a file	
ĺ	Cancel		

注意: [Upload the File and Free the Seat] ボタンは、有効なフィンガープ リント データをアップロードまたは挿入すると有効になります。

これで別のマシンでライセンスをアクティベートできます。

オフライン Fixed User (固定ユーザー) ライセンスをオンラインに変換するには、各ライ センス シートについて上記の手順を実行する必要があります。

# オフライン Floating (フローティング) ライセ ンスの解放

このトピックは、TestComplete 14.9 で導入された SmartBear ID ベース ライセンスに 関するものです。バージョン 15.40.0 では、従来のキーベース ライセンスも引き続き利 用できます。キーベース ライセンスについては、「キーベース ライセンス」を参照して ください。

### ライセンスの解放が必要な理由

ライセンス管理者がネットワーク内のオンプレミスのライセンス サーバーでオフライン Floating (フローティング) ライセンスをアクティベートすると、ライセンスは、ライセン ス サーバーのマシンにバインドされます。このライセンスは、別のマシンで使用すること ができません。ライセンスを別のマシンに移動したり、オンライン ライセンスに戻すには、 最初にオンプレミスのライセンス サーバーでライセンスを解放する必要があります。

### Floating (フローティング) ライセンスの解放方法

オフライン Floating (フローティング) ライセンスは、オンプレミスのライセンス サー バーがインストールされているマシンにバインドされます。解放するには、ライセンス管 理者がオンプレミスのライセンス ポータルにログインして、ライセンスを解放する必要が あります。詳しい手順は、SmartBear ライセンス ポータルのドキュメントを参照してく ださい。

ライセンス ユーザーについては、特別な操作は必要なく、マシンで TestComplete を 終了するだけです。

# キーベース ライセンス

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

TestComplete を使用するには、評価版であってもライセンスが必要です。このセクショ ンでは、TestComplete キーベース ライセンスのアクティベートと保守方法について説明 します。新しい SmartBear ID ベース ライセンスについては、「SmartBear ID ベース ライセンス」を参照してください。

# ライセンス システムについて

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

TestComplete を使用するには、評価版であってもライセンスが必要です。ライセンスに応じて、利用可能な製品機能と同時に実行できる製品インスタンスの数が異なります。

## キーベース ライセンスのサブタイプ

- TestComplete には、Node-Locked (ノードロック) と Floating User (フローティ ング ユーザー) キーベース ライセンスがあります。
- *Node-Locked (ノードロック)* ライセンスは、1 台のマシンで 1 つの TestComplete インスタンスの実行が許可されます。
- Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスは、ネットワークの複数の マシンで同時に1つまたは複数の TestComplete インスタンスの実行が許可され ます。
- Node-Locked (ノードロック) ライセンスと Floating User (フローティング ユー ザー) ライセンスには、Perpetual (恒久) ライセンスと time-limited (期間付き) ライセンスがあります。後者は、Subscription (サブスクリプション) ライセンス とも呼ばれます。

たとえば、TestComplete の評価版ライセンスは、Node-Locked (ノードロック) 期間限定ライセンスです。  ライセンスにより、製品機能のすべてまたは一部の使用が許可されます。たとえば、 TestCompleteの個々のモジュール (Desktop、Web、Mobile)の使用が許可され るライセンスもあれば、すべてのモジュールの使用が許可されるライセンスもあり ます。

「TestComplete ライセンスの種類」も参照してください。

### ライセンスの仕組み

- ライセンス サブシステムは、TestComplete 実行ファイルの一部です。必要に応じて、スタンドアロンの License Manager ユーティリティも使用できます。
- ライセンスをアクティベートするため、License Manager (組込みまたはスタンド アロン) は SmartBear ライセンス サーバーとデータをやり取りします。

https://ls1.smartbear.com, port: 443
https://ls2.smartbear.com, port: 443

License Manager マシンは、インターネットに接続してこのサーバーにアクセス できるようにすることを推奨します。これにより、アクティベートが容易になりま す。ネットワークで動作しているプロキシやファイアウォールが、このサーバーへ の接続を許可している必要があります。アクティベート後、通常の製品機能の使用 中にサーバーへの接続は必要ありません。

マシンが Web にアクセスできない場合は、手動でライセンスをアクティベートできます。

• TestComplete は、起動時にマシンまたはネットワーク内でライセンスを検索しま す。ライセンスを検出した場合は、そのライセンスを使用して実行します。



Node-Locked



#### Floating User

追記事項

 ライセンス サブシステムは、Sentinel SDK License Manager サービスを使用し ます。このサービスは、すべてのライセンス操作(アクティベート、実行、更新、 移動)に使用されます。

TestComplete やスタンドアロンの License Manager ユーティリティをインス トールすると、このサービスが自動的にインストールされ開始されます。

- ライセンスは、アクティベートしたマシンにバインドされます。このマシンを License Manager PC と呼びます。TestComplete は、起動すると特定のハード ウェア パラメーターを確認します。このパラメーターの値がアクティベート時と 異なる場合、TestComplete は起動しません。
- アクティベートすると、ライセンス キーが消費されます。このライセンス キーを使って、別のマシンでアクティベートすることはできません。この場合、新しいキーを使用する必要があります (以下を参照)。
- 別のマシンにライセンスを移動するには、現在の License Manager PC でアクティ ベートを解除して (ライセンスを解放して) から、新しいライセンス キーを使用し て別のマシンでアクティベートする必要があります。ライセンス キーは、My SmartBear ポータルで確認できます。詳細は、「ライセンスのアクティベート解 除と移動」を参照してください。

Node-Locked (ノードロック) ライセンスを使用している場合は、TestComplete をアンインストールするとアクティベートが解除されます。Floating User (フロー ティング ユーザー) ライセンスを使用している場合は、License Manager ユー ティリティでアクティベート解除する必要があります。

- ・物理マシンでライセンスをアクティベースすることを推奨します。クラウドや仮想 マシンを使用することも可能ですが、手間がかかります。これらのマシンでライセ ンスをアクティベートすると、そのマシンを実行している物理マシンにライセンス がバインドされます。仮想マシンが別の物理マシンに移動されると、 TestCompleteを起動できません。同様に、クラウドマシンを停止して次回新し い物理マシンで起動すると、TestCompleteは起動時のライセンス確認に失敗しま す。これを回避するには、クラウドや仮想マシンを再起動した際に、MAC アドレ スと CPU データが変わらないようにする必要があります。「仮想マシンでの TestCompleteの使用」と「クラウドマシンでの TestCompleteの使用」も参照 してください。
- License Manager マシンが機能しなくなった場合などの緊急時には、SmartBear は緊急用ライセンス キーを提供します。詳細は、「緊急用ライセンス キー」を 参照してください。

### ライセンスのアクティベート

- ライセンスの種類に応じて、手順が異なります。
- ⇒ 評価版
- ⇒ Node-Locked (ノードロック)
- ⇒ Floating User (フローティング ユーザー)

「ライセンスのアクティベート」も参照してください。

#### その他の操作

- ⇒ ライセンスのアクティベート解除と移動
- ⇒ 緊急用ライセンスのリクエスト
- ⇒ ライセンスのアップグレード
- ⇒ ライセンスの更新

⇒ 一般的なタスク

⇒ License Manager の設定

## トラブルシューティング

⇒ トラブルシューティング (ドキュメント)

⇒ ライセンス トラブルシューター (SmartBear Web サイトのウィザード)

# TestComplete ライセンスの種類

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

TestComplete キーベース ライセンスには、以下の情報が含まれています。

- 使用可能な製品モジュールとアドオンの名前
- 同時に実行できる製品インスタンスの数

ライセンスには、1 つの製品モジュールの使用を許可するものと、Desktop + Web のように製品モジュールの組み合わせの使用を許可するものがあります。

ライセンスの種類に応じて、同時に実行できる製品インスタンスの数が異なります。 TestComplete キーベース ライセンスには、Node-Locked (ノードロック) ライセンスと Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスがあります。

## ライセンスの種類

### Node-Locked (ノードロック) ライセンス

Node-Locked (ノードロック) ライセンスは 1 台のマシンにバインドされます。このマシンでは、同時に **1 つの** TestComplete インスタンスを実行できます。

TestComplete 15 ライセンス ドキュメント

Node-Locked (ノードロック) ライセンスは、仮想マシンでアクティベートしないでくだ さい。仮想マシンでテストを実行する必要がある場合は、Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスまたは TestExecute を使用してください。

**注意:** TestComplete の評価版 (Node-Locked (ノードロック) ライセンス) は、仮想マ シンでアクティベートすることが可能です。ただし、推奨はしません。詳細は、 「仮想マシンでの TestComplete の使用」を参照してください。

### Floating User (フローティング ユーザー) ライセンス

Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスでは、ローカル ネットワーク内の複数のマシンで複数の TestComplete インスタンスを実行することが可能です。同時に実行できるインスタンスの数は、ライセンス キーにより決定されます。

Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを使用する場合は、1 台のマシン (*License Manager PC*) でのみライセンス キーを入力します。別のワークステーションで TestComplete をアクティベートする必要はありません。

## ライセンスの有効期限

ライセンスの有効期限に基づいて、Perpetual (恒久) ライセンスと Subscription (サブス クリプション) ライセンスに区別しています。

 Subscription (サブスクリプション) とは、ライセンスに期限があることを意味します。アクティベートしてから一定期間 (たとえば 30 日間) が経過すると、 ライセンスは失効します。ライセンスが失効したら、更新を購入できます。

以下のライセンスは、常に Subscription (サブスクリプション) です。

- Intelligent Quality アドオンのライセンス。ライセンスが失効すると、Intelligent Quality のテスト機能を使用してテストを作成できなくなります。ただし、 TestExecute を使用して既存のテストを実行することはできます。
- 評価版ライセンス。ライセンスが失効すると、製品を使用できなくなります。

TestComplete モジュール (Desktop、Web、または Mobile) の製品版ライセンスが失効 しても、製品を使用することはできます。ただし、製品アップデートやテクニカル サポー トは利用できません。 • Perpetual (恒久) ライセンスには有効期限がありません。

### TestComplete モジュールとアドオンのライセンス

TestComplete は、TestComplete プラットフォームと1つまたは複数の TestComplete モジュールおよびアドオンで構成されています。

#### モジュール アドオン

Desktop Web Intelligent Quality Mobile

各コンポーネントには個別のライセンスが必要です。

購入したライセンスを統合できない場合は、個別のキーを送付しますのでサポート窓口ま でご連絡ください。キーごとにアクティベートを行う必要があります。

### ほかの製品のライセンス

TestExecute は、TestComplete がインストールされていないマシンでテストを実行する ことができるリソース フレンドリーな製品です。TestExecute ライセンスには有効期限が なく、すべての TestComplete モジュールと Intelligent Quality アドオンが含まれます。

TestLeft は、Microsoft Visual Studio で自動 UI テストを作成するツールです。

TestLeft は TestExecute には含まれておらず、個別のライセンスが必要です。

### ライセンスの種類の確認

所有しているライセンスの種類は、SmartBear の Web サイトまたは製品から直接確認できます。詳細は、「ライセンスの種類の理解」を参照してください。

### ライセンスのアクティベート

TestComplete の使用を開始する前に、ライセンスをアクティベートする必要があります。 ライセンスの種類に応じて、手順が異なります。詳細は、「**ライセンスのアクティベート**」 を参照してください。

# 緊急用ライセンス キー

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

### 緊急用ライセンス キーの用途

ライセンス キーは一度だけ使用できます。ライセンスは、キーが入力されたマシンにバインドされます。このマシンが機能しなくなると、ライセンス キーで制御されている TestComplete インスタンスは起動できなくなります。

緊急用ライセンス キーは、ライセンスがバインドされているマシンが盗難、損傷、破壊さ れた場合など、予期せぬ状況で使用されるものです。このキーを使用することで、このよ うな予期せぬ状況でもテスト環境を機能させることができます。

- 緊急用ライセンス キーは、アクティベート後 **14 日間**有効です。14 日が経過する と失効します。
- 緊急用ライセンス キーは、1 ライセンスにつき 1 回のみ取得できます。

### 緊急用ライセンス キーをリクエストする前に

- Node-Locked (ノードロック) ライセンスを所有している場合は、TestComplete License Recovery ウィザードを使用して復元を試みてください。詳細な手順は、 「ライセンスの復元」を参照してください。
- ウィザードを使用しても復元できない場合や Floating User (フローティング ユー ザー) ライセンスを所有している場合は、サポート窓口まで直ちにご連絡ください。
   緊急用ライセンス キーを使用できるようにし、ライセンスの問題を解決できるようお手伝いをいたします。

### 緊急用ライセンスの取得

1. SmartBear アカウントにログインします。

#### https://my.smartbear.com

 TestComplete 製品ページに移動して、右側のメニューから [Emergency License Key] をクリックします。そして、画面の指示に従います。 3. 緊急用ライセンス キーを取得したら、新しい License Manager PC でアクティ ベートします。

# ライセンスのアクティベート

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

ライセンスのアクティベート手順は、ライセンスの種類により異なります。詳細は、この セクションのトピックを参照してください。

### このセクションのトピック

- ⇒ 評価版ライセンス
- ⇒ Node-Locked (ノードロック) ライセンス
- ⇒ Floating User (フローティング ユーザー) ライセンス
- ⇒ 手動アクティベート
- ⇒ 追加ライセンス
- ⇒ 評価版の申し込み

## 評価版ライセンスのアクティベート

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

#### 概要

- TestComplete の評価版は、30 日間有効な完全に機能する Node-Locked (ノード ロック) ライセンスです。
- 1 台のマシンで 1 つの TestComplete インスタンスの実行が許可されます。
- 評価版ライセンスでは、TestCompleteのDesktop、Web、およびMobile モジュールとIntelligent Quality アドオンを利用できます。
- また、同時に1つの TestExecute インスタンスを実行できる TestExecute Floating User (フローティングユーザー) ライセンスも含まれています。

製品版と評価版の違いについては、次のサイトを参照してください。

https://www.xlsoft.com/jp/products/smartbear/download.html

#### 要件

• ライセンスをアクティベートするため、TestComplete は SmartBear ライセンス サーバーとデータをやり取りします。

https://ls1.smartbear.com、 #-h 443 https://ls2.smartbear.com、 #-h 443

このサーバーにアクセスできるマシンを使用することを推奨します。これにより、 アクティベートが容易になります。ネットワークで動作しているプロキシやファイ アウォールが、このサーバーへの接続を許可している必要があります。

Web にアクセスできない場合は、手動でライセンスをアクティベートできます。

 TestComplete 評価版は、物理マシンにインストールすることを推奨します。 クラウドや仮想環境を使用することも可能ですが、手間がかかります。評価版 ライセンスは Node-Locked (ノードロック) ライセンスであり、アクティベート したマシンにバインドされます。そのため、クラウドや仮想マシンを停止したり、 移動すると、評価版を使用できなくなります。これを回避するには、クラウドや 仮想マシンを再起動した際に、MAC アドレスと CPU データが変わらないように する必要があります。

評価版ライセンスは物理マシンでアクティベートし、クラウドや仮想マシンでは TestExecute を使用してテストを実行することを推奨します。詳細は、「クラウ ドマシンでの TestComplete の使用」を参照してください。

### アクティベート手順

- 1. マシンに TestComplete をダウンロードして、インストーラーを起動します (ファ イル名は変更しないでください)。
- 2. TestComplete をインストールします。インストールが完了すると、自動的に TestComplete が起動されます。
- 3. TestComplete は、起動すると [Welcome] ダイアログを表示します。[Start a Trial] をクリックします。

	[estComplete	×
	Welcome to TestComplete!	
	Start working with the trial version or activate a commercial license.	
	Start a <b>Trial</b>	
	Activate a Commercial License	
0	Tell me more	

- **注意:** 製品版ライセンス キーをアクティベートするには、[Activate a commercial license] をクリックして、画面の指示に従ってください。
- 4. TestComplete は、SmartBear ライセンス サーバーに接続して (上記を参照)、 評価版ライセンスをアクティベートします。

インターネットに接続できない場合、TestComplete はエラー メッセージを表示 し、オフライン (手動) アクティベートの使用を促します。ウィザードの指示に 従って、アクティベートを行います。「手動アクティベート手順」も参照してくだ さい。

## ライセンスのアンインストールと移動

アクティベートすると、評価版ライセンスがマシンにバインドされます。評価版ライセン スを別のマシンに移動する場合は、新しい評価版を申し込むか、サポート窓口までご連絡 ください。 TestComplete 15 ライセンス ドキュメント

## トラブルシューティング

⇒ トラブルシューティング (ドキュメント)

⇒ ライセンス トラブルシューター (SmartBear Web サイトのウィザード)

# Node-Locked (ノードロック) ライセンスの アクティベート

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

Node-Locked (ノードロック) ライセンスを使用する場合は、TestComplete をインス トールして実行するマシンでライセンスをアクティベートします。

⇒ 概要

⇒ 要件

⇒ アクティベート手順

⇒ トラブルシューティング

### はじめに

TestComplete をインストールしてライセンスをアクティベートすると、ライセンスが マシンにバインドされます。TestComplete ライセンスをアンインストールして別のマシ ンに移動するには、ライセンス解除手順を実行する必要があります。その際、SmartBear サポート窓口に問い合わせが必要になることがあります(「ライセンスのアクティベート 解除と移動」を参照)。

後で手間がかからないように、ライセンスを移動しなくて済むようなインストール計画を 立てることを推奨します。

#### 要件

- 物理マシンでライセンスをアクティベートします。クラウドや仮想マシンでライセンスをアクティベートすることは推奨しません。クラウドや仮想マシンを使用する場合は、マシンを再起動した際に、MAC アドレスと CPU データが変わらないようにする必要があります。
- ライセンスをアクティベートするため、TestComplete は SmartBear ライセンス サーバーに要求を送信します。マシンがサーバーにアクセスできる場合、ライセン スは自動的にアクティベートされます。そうでない場合は、手動でアクティベート する必要があります。

自動アクティベートを行うには、マシンがインターネットに接続され、以下の SmartBear Web サーバーにアクセスできる必要があります。

https://ls1.smartbear.com & http://ls2.smartbear.com, #-h 443

ネットワークで動作しているプロキシやファイアウォールが、このサーバーへの接 続を許可している必要があります。ほとんどの場合、ファイアウォールやプロキシ が要求をブロックすることはありませんが、アクティベートに失敗した場合はそれ らの設定を変更する必要があります。ライセンスをアクティベートした後、この サーバーに接続する必要はありません。

 ライセンスをアクティベートするマシンにほかの TestComplete ライセンスがイ ンストールされていてはなりません。詳細は、「追加ライセンスのアクティベート」 を参照してください。

さらに、TestComplete をインストールするマシンは、製品のハードウェア要件とソフトウェア要件を満たしている必要があります。詳細は、「システム要件」を参照してください。

### アクティベート手順

#### 自動アクティベート

- 1. マシンに TestComplete をインストールします。
- 2. TestComplete を起動します。ローカル コンピューターおよびネットワーク内で アクティベートするライセンスを検索します。
- マシンに TestComplete の以前のバージョンの Node-Locked (ノードロック) ライセンスがある場合、TestComplete は SmartBear ライセンス サーバー (上記 を参照)に接続して、そのライセンスで利用可能な更新を確認します。

更新が利用可能な場合(たとえば、有効な保守サブスクリプションをお持ちの場合)、TestCompleteは新しいライセンスのアクティベートを促すメッセージ ボックスを表示します。メッセージボックスの[Activate on this PC]をクリッ クします。TestCompleteは、自動的に新しいライセンスをアクティベートします。

4. TestComplete はアクティベートするライセンスを検出できない場合、メッセージ ボックスにその旨表示します。

メッセージ ボックスで [Activate a license] をクリックします。

これにより [License Management] ウィザードが起動します。

- ウィザードの最初のページで [Activate a new license on this computer] を選択して、[Next] をクリックします。マシンがインターネットに接続され ており、SmartBear ライセンス Web サイト (https://ls1.smartbear.com または https://ls2.smartbear.com、ポート 443) にアクセスできる場合、 ウィザードは自動アクティベート モードを選択します。
- ウィザードの次のページで、アクティベート情報(ユーザー名、会社名、 メールアドレスおよびライセンスキー)を指定します。

ライセンス キーは、SmartBear Web サイト (https://my.smartbear.com) の My SmartBear セクションにある TestComplete 製品ページ、またはライ センスをリクエストした後に送付されるメールに記載されています。

 TestComplete プラットフォーム、モジュール、およびアドオンには 個別のライセンスが必要です。購入したライセンスを統合できない 場合は、個別のキーを送付しますのでサポート窓口までご連絡 ください。ライセンスごとにアクティベートする必要があります。

ユーザー名、会社名、メール アドレスには、使用者のデータまたはライセンス 保管者のデータを入力することができます。使用者のデータを入力することを 推奨します。

アクティベートに必要な情報を入力したら、[Next]をクリックします。

 次のページで、プロキシ認証設定を指定できます。多くの場合、オフィス内の マシンは直接ではなく、プロキシ サーバーを介してインターネットに接続され ています。プロキシの種類によっては、Web 接続に必要なユーザー名とパス ワードを指定する必要があります。ほとんどのプロキシは認証を必要としない ため、通常は何も入力する必要はありません。プロキシの種類やユーザー名と パスワードが不明な場合は、システム管理者に確認してください。 プロキシの種類と認証情報を指定したら、[Activate] をクリックします。 ライセンスがアクティベートされます。

5. アクティベートされると、アクティベートが完了したことを示す [License Management] ウィザードの最後のページが表示されます。

アクティベートに失敗すると、問題の説明を含むエラーメッセージが表示されます。

#### 手動アクティベート

手動アクティベートでは、TestComplete がインストールされたマシンと SmartBear Web サイトの間でデータのやり取りが発生します。アクティベート手順の詳細は、「手動 アクティベート手順」を参照してください。

#### アクティベート後

別のライセンスがアクティベートされているマシンでライセンスをアクティベートし、ラ イセンスが統合された場合、統合ライセンスで提供される機能を手動で有効にしてくださ い。

TestComplete で [File] > [Install Extensions] を選択して、必要なモジュールとプラグ インを有効にします。

### トラブルシューティング

ライセンスのアクティベート中に問題が発生した場合、次のトピックの手順に従って、 手動で修正を試みることができます。

⇒ Node-Locked (ノードロック) ライセンスのよくある問題の修正

SmartBear Web サイトのライセンス トラブルシューターを使用して問題の解決を試みる こともできます。

⇒ ライセンス トラブルシューター (オンライン)

# Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスのアクティベート

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

#### 概要

Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスは、複数のユーザーが同時に TestComplete を実行することを許可します。ライセンスは、License Manager ユーティ リティによって管理されています。License Manager ユーティリティは、通常、 TestComplete や TestExecute がインストールされていないマシンにインストールします。

Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスは、License Manager PC で一度 アクティベートするだけです。TestComplete を実行する個々のワークステーションで アクティベートする必要はありません。

## 1. License Manager ユーティリティのダウンロードと インストール

#### 1. License Manager ユーティリティ用のマシンの選択

License Manager は、低スペックのマシンでも実行できる軽量のユーティリティです。 最小システム要件は以下の通りです。

- Windows 7 SP1 以降 (クライアントおよびサーバー エディションをサポート)
- RAM 2 GB
- 200 MB のシステム ディスク上の空き容量
- 解像度 1024 × 800 以上のモニター
- ネットワーク インターフェイス (以下を参照)
- マシンでライセンスをアクティベートすると、ライセンスはそのマシンにバイン ドされます。別のマシンにライセンスを移動するには、ライセンスのアクティ ベート解除する必要があります。場合によっては、SmartBear サポート窓口に連 絡する必要があります。ライセンスを移動しなくて済むように、License

Manager PC は慎重に選択してください。License Manager PC には、ネットワーク設定とマシンの可用性に関して、以下の**重要な要件**があります。

その他の要件

- License Manager PC は物理マシンでなければなりません。クラウドや仮想マシン でライセンスをアクティベートすることは推奨しません。クラウドや仮想マシンを 使用する場合は、マシンを再起動した際に、MAC アドレスと CPU データが変わら ないようにする必要があります。
- TestComplete インスタンスを実行するワークステーションから常にアクセスでき る必要があります。そのため、Floating User (フローティング ユーザー) ライセン スはサーバー マシンでアクティベートすることを推奨します。
- ネットワークに接続されている必要があります。ネットワークで実行中の TestComplete インスタンスがアクセスできる必要があります。
- TCP および UDP プロトコルとポート 1947 によるトラフィックを許可する必要が あります。License Manager PC は、これらのプロトコルとポートを使用して TestComplete インスタンスとデータをやり取りします。
  - ネットワークで動作しているプロキシやファイアウォールが、これらの プロトコルやポートをブロックしないことを確認してください。
- Web に接続されていることを推奨します。これにより、ライセンスのアクティ ベートが容易になります。アクティベート後、Web への接続は不要です。

Web 経由でライセンスをアクティベートする (**自動アクティベート**) には、マシン が 以下の SmartBear Web サーバーにアクセスできる必要があります。

https://ls1.smartbear.com および http://ls2.smartbear.com 、  $\pi$ -ト 443

ネットワークで動作しているプロキシやファイアウォールが、アクティベート要求 を許可することを確認してください。

マシンがインターネットに接続されていない場合は、手動アクティベート手順に従 う必要があります。SmartBear Web サーバーとデータをやり取りするために使用 する、インターネットに接続された別のマシンが必要になります。このマシンは、 以下の SmartBear Web サーバーにアクセスできる必要があります。

自動アクティベートと手動アクティベートの詳細は、以下を参照してください。

#### 2. ユーティリティのダウンロードとインストール

ユーティリティは、SmartBear Web サイトからダウンロードできます。

downloads.smartbear.com/SmartBearLicenseManager.exe

ユーティリティをインストールするには、ダウンロードした実行ファイルを実行して、 画面の指示に従ってください。インストール方法は分かりやすく簡単です。

### 2. ライセンスのアクティベート

ライセンスのアクティベートでは、License Manager と SmartBear ライセンス サーバー 間でデータのやり取りが発生します。License Manager をインストールしたマシンが Web に接続されており、ライセンス サーバーにアクセスできる場合、ライセンスは自動 的にアクティベートされます。そうでない場合は、手動でアクティベートする必要があり ます。

#### 自動アクティベート

- License Manager を起動します。Windows ボタンをクリックして、[すべてのプ ログラム] から [SmartBear] > [Activate or Deactivate License] を選択し ます。
- ウィザードの最初のページで [Activate a new license on this computer] を 選択します。

 $\times$ 

#### License Management

#### Do you want to activate or deactivate a license?

O Move or deactivate the selected license:

-

Next Cance
------------

マシンがインターネットに接続されており、SmartBear ライセンス Web サイト (https://ls1.smartbear.com または https://ls2.smartbear.com、 ポート 443) にアクセスできる場合、ウィザードは自動アクティベートを使用し ます。

3. ウィザードの次のページで、アクティベートに必要な情報 (ユーザー名、会社名、 メール アドレスおよびライセンス キー) を指定します。 ← 🎐 License Management

#### License Activation

First name:	John			
Last name:	Smith			
Company:	Example Company			
E-mail:	john.smith@example.com			
License key:	12-12-15 - 156 - 12-12 - 12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-1			
You can find the activation data for your license on the My SmartBear portal ( <u>https://my.smartbear.com</u> ), or in the e-mail message that we sent you after you ordered the license.				

Activate	Cancel

#### 注意:

- ライセンス キーは、SmartBear Web サイトの My SmartBear セクション (https://my.smartbear.com) にある TestComplete 製品ページ、または ライセンスをリクエストした後に送付されるメールに記載されています。
  - TestComplete プラットフォーム、モジュール (Desktop、Web、 Mobile)、およびアドオンには個別のライセンスが必要です。ライセン スキーごとにアクティベート手順を繰り返す必要があります。
- ユーザー名、会社名、メール アドレスには、使用者またはライセンス所有者の 情報を入力できます。使用者のデータを入力することを推奨します。

アクティベートに必要な情報を入力したら、[Next]をクリックします。

- マシンがプロキシ サーバーを介してインターネットに接続されている場合、ウィ ザードの次のページでプロキシ認証設定を入力します。必要に応じて、システム管 理者に確認してください。
- 5. [Activate] をクリックします。ライセンスがアクティベートされます。

アクティベートされると、アクティベートが完了したことを示す [License Management] ウィザードの最後のページが表示されます。 [License Management] ウィザードを閉じます。

アクティベートに失敗すると、問題の説明を含むエラー メッセージが表示されます。

#### 手動アクティベート

License Manager が SmartBear ライセンス サーバーにアクセスできない場合は手動アク ティベートを使用します。これは、手動でデータをやり取りすることを意味します。詳細 は、「手動アクティベートの手順」を参照してください。

#### (オプション) アクティベートされたかどうかの確認

 アクティベートが完了したら、ライセンスがアクティベートされたかどうかを確認 できます。License Manager PC で次の URL を開きます。

http://localhost:1947/\_int\_/products.html

アクティベートされているライセンスがリストに表示されます。

gemalto <sup>×</sup>	Sentinel Admin Control Center					
Options	Products Available on LICENSESERVER					
Sentinel Keys	# Product Name	Vendor	Location	Actions		
Products Features Sessions	1 TestComplete 12	SmartBear Software	Local	Features		
Update/Attach						
Access Log Configuration						
Diagnostics						
About						
More Languages						

- TestComplete インスタンスでライセンスを利用できるかどうかを確認するには、 TestComplete がインストールされているマシンで次の操作を行います。
  - a. TestComplete ワークステーションで、次の URL をブラウザーで開きます。

http://localhost:1947/\_int\_/products.html

b. リストで Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを見つけます。
 [Location] カラムの値がライセンスをアクティベートした License Manager PC であることを確認します。

gemalto <sup>×</sup>		Sentinel Admin Control Center		
Options Sentinel Keys Products Features Sessions Update/Attach Access Log Configuration Diagnostics Help About	Products Available on TestAgent      Product Name      TestComplete 12	Vendor SmartBear Software	Location LICENSESERVER	Actions Features
				Help Top

 ライセンスがリストにない場合、TestComplete ワークステーションは License Manager PC にアクセスできなかった可能性があります。マシンのライセンス設定 を確認するか、システム管理者にシステムで動作しているプロキシとファイア ウォールの設定を確認してもらう必要があります。「Floating User (フローティン グ) ユーザー ライセンスのよくある問題の修正」を参照してください。

## 3. TestComplete インスタンスの実行

ライセンスをアクティベートすると、ネットワークで実行されている TestComplete イン スタンスで利用できるようになります。TestComplete を起動すると、ネットワーク内の License Manager を検索します。License Manager が見つかると、自動的にライセンス を消費します。License Manager が見つからない場合は、エラー メッセージが表示され ます。

### 4. 接続の設定

License Manager の設定を変更して、ライセンスの使用状況をより適切に管理することが できます。たとえば、License Manager からライセンスを消費できるユーザーを指定でき ます。あるいは、組織内にいくつかの License Manager がある場合、TestComplete インスタンスを接続する License Manager を指定できます。 これらのタスクや一般的なタスクについては、「License Manager の操作」を参照して ください。

### 5. 追加ライセンスのアクティベート

場合によっては、同じ License Manager で複数のライセンスをアクティベートすること があります。この場合も、上記の説明に従って同じ方法でアクティベートします。可能な 場合、License Manager はライセンス データの統合を試みます。詳細は、「追加ライセ ンスのアクティベート」を参照してください。統合できない場合は、エラー メッセージが 表示されます。

「新しい」ライセンスが「既存の」ライセンスとは異なる製品機能の使用を許可している 場合は、ライセンスをアクティベートした後に、TestComplete ワークステーションで 「新しい」機能を有効にする必要があります。たとえば、すでに Platform + Desktop ライセンスがあり、追加で Web モジュール ライセンスをアクティベートする場合、Web テストを作成するすべてのマシンで次の操作を行います。

- 1. TestComplete を起動して、[File] > [Install Extensions] を選択します。
- 2. ダイアログで Web テスト拡張を有効にして、変更を保存します。

### トラブルシューティング

ライセンスのアクティベート中に問題が発生した場合、次のトピックの手順に従って、 手動で修正を試みることができます。

⇒ Floating User (フローティング) ユーザー ライセンスのよくある問題の修正

SmartBear Web サイトのライセンス トラブルシューターを使用して問題の解決を試みる こともできます。

⇒ ライセンス トラブルシューター (オンライン)

## 手動アクティベート手順

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。 TestComplete 15 ライセンス ドキュメント

自動アクティベート中に、ライセンス管理モジュールは SmartBear Web サーバーと自動 でデータをやり取りします。自動アクティベートを利用できない場合は、データを手動で 送信する必要があります。このトピックでは、その方法について説明します。

ライセンスをアクティベートするマシンは、アクティベート後に License Manager になるため、License Manager PC と呼びます。

Node-Locked (ノードロック) ライセンスと Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスの手順はよく似ています。唯一異なる点は、Node-Locked (ノードロック) ライセンスでは TestComplete がインストールされたマシンが License Manager PC と なり、Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスでは License Manager ユーティリティや TestComplete インスタンスの 1 つがインストールされたマシンが License Manager PC となります。

## システム要件

 手動アクティベートでは、SmartBear Web サーバーと License Manager PC の 間で手動でファイルをやり取りする必要があります。そのため、インターネットに 接続されているマシンが必要です。このマシンを License Manager PC と SmartBear Web サイトの仲介として使用します。License Manager PC から仲介 マシンにファイルを送り、仲介マシンから SmartBear Web サイトに転送し、 Web サイトから仲介マシンにファイルをダウンロードして、仲介マシンから License Manager PC に転送します。

仲介マシンは SmartBear Web サイトの My SmartBear セクション (https://my.smartbear.com) にアクセスできる必要があります。ネットワーク で動作しているプロキシやファイアウォールが、この Web サイトへのアクセスを ブロックしないことを確認してください。

 License Manager PC に TestComplete (またはスタンドアロンの License Manager ユーティリティ)をインストールします。これにより、アクティベート の実行に必要なライセンス モジュールがインストールされます。Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスをアクティベートする場合は、License Manager ユーティリティを使用することを推奨します。

注意:

• 物理マシンでライセンスをアクティベートします。仮想環境でテストを実行する必要がある場合は、「仮想環境での TestComplete の使用」を参照してください。

 1 台の License Manager PC で複数のライセンスをアクティベートする場合、 いくつかの制限事項があります。詳細は、「追加ライセンスのアクティベート」を 参照してください。

### 手動アクティベート手順

#### 1. License Manager PC でアクティベートを開始

- 1. License Manager PC で [License Management] ウィザードを起動します。
  - TestComplete からライセンスをアクティベートする場合は、License Manager PC で TestComplete を起動します。TestComplete ライセンス サブシステムは、アクティベートするライセンスを検索します。

アクティベートするライセンスを検出できない場合、TestComplete はメッ セージ ボックスにその旨表示します。[License Management] ウィザードを 起動するには、このメッセージ ボックスで [Activate] をクリックします。

アクティベートするライセンスが検出された場合は、TestComplete のメイン メニューから [Help] > [Activate or Deactivate License] を選択して、 [License Management] ウィザードを実行します。

- または -

- スタンドアロンの License Manager ユーティリティを使用してアクティベートする場合は、License Manager PC でユーティリティを起動します。[スタート] ボタン (または Windows ボタン) をクリックして、メニューから [すべてのプログラム] > [SmartBear] > [License Manager] > [Activate or Deactivate License] を選択します。このユーティリティは、TestComplete License Management ウィザードに似ています。
- 2. マシンが Web に接続されていない場合や SmartBear ライセンス Web サイト (https://ls1.smartbear.com または https://ls2.smartbear.com、 ポート 443) にアクセスできない場合、TestComplete は通知メッセージを表示し て、オフライン (手動) アクティベートの使用を促します。オフライン (手動) アク ティベート モードの使用を選択します。
- 3. ウィザードに手動アクティベート手順に関する情報が表示されます。[Next] をク リックして処理を続けます。ウィザードの次のページでは、ファイル名を指定する 必要があります。

TestComplete 15 ライセンス ドキュメント

#### 2. License Manager PC に関する情報の収集

アクティベート データを生成するため、License Manager PC のハードウェアに関する情報が必要になります。ウィザードはこの情報を自動的に収集して、マシンの .c2v ファイルに保存します。ファイル名はウィザードに表示されます。

評価版ライセンスをアクティベートする場合は、評価版ライセンス キーもウィザードに 表示されます。記憶するか、メモしておいてください。

#### 3. SmartBear Web サイトとのデータのやり取り

License Manager PC のハードウェアに関するデータを保存したファイルを SmartBear Web サイトに送信する必要があります。この場合、次の操作を行います。

- 1. 以前のステップで生成した .c2v ファイルを仲介マシンに転送します。
- 2. 仲介マシンで Web ブラウザーを起動して、次の URL を開きます (この URL は License Manager PC で実行している License Management にも表示されます)。

https://my.smartbear.com/manual-license-activation/

- 3. Web ページが表示されたら、ライセンス キーと .c2v ファイルの名前を指定しま す。[Send File] をクリックします。これで、ファイルが SmartBear Web サイ トにアップロードされます。ファイルの転送には時間がかかることがあります。
- 4. Web サイトは、ファイルを処理して License Manager PC 用のアクティベート データを生成します。

アクティベート データが生成されると、データを保存したファイル (ファイル拡張 子 .v2c) のダウンロード リンクが表示されます。この .v2c ファイルを仲介マシン にダウンロードします。

5. アクティベート データを含む .v2c ファイルを仲介マシンから License Manager PC に転送します。

#### 4. アクティベート データの適用

アクティベート データ ファイルをダウンロードして License Manager PC にコピーした ら、アクティベート データを PC に適用できます。

1. License Manager PC で、[License Management] ウィザードの [Next] をク リックします。エディット ボックスを含むウィザードの次のページが表示されます。 2. エディット ボックスでアクティベート データ ファイル (.v2c) ファイルを指定し て、[Activate] をクリックします。これで、License Manager PC にアクティ ベート データが保存されます。

#### 5. 最終ステップ

アクティベートが完了すると、ライセンスがアクティベートされたことを示すページが 表示されます。ウィザードを閉じます。

エラーが発生した場合は、問題に関するメッセージが表示されます。問題を解決して、 再度ライセンスのアクティベートを試行してください。想定される問題の解決方法につい ては、「トラブルシューティング」と「ハウツー」セクションを参照してください。

TestComplete プラットフォーム、モジュール、およびアドオンには個別のライ センスが必要です。ライセンス キーごとにアクティベート手順を繰り返し実行す る必要があります。

#### 注意

リモート マシンでライセンスをアクティベートする場合、ブラウザーを使用してマシンの .c2v ファイルを生成して適用できます。

- リモート マシンで動作している License Manager は、リモートでの設定を許可 (デフォルトでは許可) している必要があります。
- .c2v ファイルを取得するには、以下のページを開いて、[Local] 行の [C2V] を クリックします。そして、このファイルを SmartBear に送ります。

http://remote-machine:1947/\_int\_/devices.html

• SmartBear から受け取った .v2c ファイルを適用するには、以下のページを開いて、.v2c ファイルの名前を指定して [Apply File] をクリックします。

http://remote-machine:1947/\_int\_/checkin.html
# 追加ライセンスのアクティベート

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

ライセンス管理を容易にするため、1 台の License Manager PC で複数の TestComplete ライセンスをアクティベートしたい場合があります。ネットワーク内の License Manager で複数の Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを制御するのが一般的です が、1 台のマシンで複数の Node-Locked (ノードロック ライセンス) をアクティベートす る必要がある場合もあります。

### アクティベート手順

License Manager PC (ネットワーク内のマシンまたはローカル マシン) でライセンスをアクティベートした後に、ほかのライセンス キーについてもアクティベート手順を繰り返し実行します。

詳細は、以下のトピックを参照してください。

⇒ Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスのアクティベート

⇒ Node-Locked (ノードロック) ライセンスのアクティベート

既存のライセンスに追加でライセンスをアクティベートする場合、License Manager はこれらのライセンスを1つに統合しようと試みます。ライセンスデー タを統合できる場合、License Manager はアクティベートを許可して、新しいラ イセンスと既存のライセンスのデータを自動的に統合します。ライセンス データ を統合できない場合、License Manager は新しいライセンスをアクティベートし ません。詳細は以下を参照してください。

新しいライセンスは、既存のライセンスをアクティベートしたのと同じマシンに バインドされることに注意してください。

 マシンでアクティベートされている既存のライセンスとは異なる機能セットを持つ ライセンスをアクティベートした場合は、TestComplete ワークステーションで 新しい機能を手動で有効にしてください。TestComplete で [File] > [Install Extensions] を選択して、必要なプラグインを有効にします。

## 同じマシンでアクティベートできるライセンス

- Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスと別の Floating User (フローティング ユーザー) ライセンス。
  - 新しい Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスと古い Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスは同じマシンでアク ティベートできない場合があります。新しい Floating User (フローティン グ ユーザー) ライセンスは VM 対応ですが (つまり、クラウドや仮想マシ ンでアクティベートできますが)、古い Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスにはデフォルトでこの機能はありません。このよう なライセンスは統合できません。
- 機能セットの異なる Node-Locked (ノードロック) ライセンス。
- TestComplete ライセンスと TestExecute ライセンス。これらは異なる製品なの で、それぞれの製品版ライセンスを同じ PC でアクティベートできます。つまり、 1 台のマシン (サーバー) で異なるライセンスを管理できます。
- 製品版ライセンスとアクティベート済みの評価版ライセンス。

### 同じマシンでアクティベートできないライセンス

License Manager は、ライセンス キーのデータが既存のライセンスのデータと一致し、 上書きする恐れがある場合、アクティベートを許可しません。

- Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスがアクティベートされている 場合、Node-Locked (ノードロック ライセンス) ライセンスはアクティベートでき ません。その逆も同様です。これらは異なるライセンスの種類であり、組み合わせ ることはできません。
- 同じコンポーネントのセット (プラットフォーム、Desktop、Web、および Mobile モジュール、Intelligent Quality アドオン)を制御する別の Node-Locked (ノードロック) ライセンスがすでにある場合、Node-Locked (ノードロック) ライ センスをアクティベートすることはできません。このようなライセンスをアクティ ベートすると、既存のデータが上書きされます。
  - 例外: TestComplete モジュール (Desktop、Web、Mobile) や Intelligent Quality アドオンのライセンス キーをアクティベートしたときに、その キーがまだアクティベートされていない場合はアクティベートが許可さ れ、古いライセンスと新しいライセンスの組み合わせになります。

- 同じ PC で複数のサブスクリプション ライセンスをアクティベートすることはできません。
- 製品版ライセンスがアクティベートされている場合、評価版ライセンスをアクティ ベートすることはできません。

### 注意

License Manager PC ではライセンスが統合されていますが、SmartBear アカウントでは個別のライセンスとして表示されます。アクティベートされているライセンスの統合を解除して別のマシンに移動する場合は、すべてのライセンスキーをアクティベート解除してから、それぞれのマシンで再度アクティベートする必要があります。

## トラブルシューティング

ライセンスのアクティベート中に問題が発生した場合、次のトピックの手順に従って、 手動で修正を試みることができます。

⇒ Floating User (フローティング) ユーザー ライセンスのよくある問題の修正

SmartBear Web サイトのライセンス トラブルシューターを使用して問題の解決を試みる こともできます。

⇒ ライセンス トラブルシューター (オンライン)

## 評価版の申し込み

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

評価版ライセンスを申し込むには、[Trial Request] ダイアログで必要なデータを入力し ます。

## [Trial Request] ダイアログの表示

• [Welcome] ダイアログで [Start a Trial] をクリックします。[Welcome] ダイ アログはインストール後に表示されます。

- または -

 [Unable to find an activated license] メッセージで [Request trial] を クリックします。このメッセージは、アクティベートするライセンスが検出できな い場合に表示されます。

## [Trial Request] ダイアログの内容

	×
<ul> <li>License Management</li> </ul>	
Trial Request	
Eirst Name:	3:
Work Email:	
<u>C</u> ountry:	
Select ~	
Company: Phone:	
All the fields are required. Your information will remain prive	ate and confidential.
	<u>S</u> end Cancel

ダイアログのエディット ボックスに必要事項を入力して [Send] をクリックすると、評価 版ライセンスを申し込むことができます。

TestComplete は、データを SmartBear ライセンス Web サーバーに送り、サーバーか らアクティベート コードを受け取ると、このコードをマシンに適用します。その後、 TestComplete ウィンドウが表示されます。

#### 要件

 評価版ライセンスを申し込んでアクティベートするには、マシンがインターネット に接続されている必要があります。

ネットワークで動作しているプロキシやファイアウォールが、SmartBear ライセ ンス Web サーバー (Is1.smartbear.com および Is2.smartbear.com、ポート 443) への接続を許可している必要があります。必要に応じて、システム管理者に 依頼して、ライセンス サーバーにアクセスできるようにしてもらってください。

- ダイアログで入力するメール アドレスは、有効なものでなければなりません。
  - SmartBear はお客様のプライバシーを尊重し、入力された情報を共有することはありません。

評価版パッケージと製品版パッケージには同じモジュールのセットが含まれます。製品版 ライセンスを購入後、製品をアンインストールして再設定する必要はありません。マシン で製品版ライセンスをアクティベートするだけです。

# ライセンスのアップグレード

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

TestComplete は、新しいライセンス、以前のバージョンからのアップグレード、または 既存の TestComplete 15 ライセンスからのアップグレードの 3 つの方法で入手できます。 このセクションのトピックでは、ライセンス アップグレードの概念とアップグレードの適 用方法について説明します。 ⇒ 既存の TestComplete 15 ライセンスのアップグレード

既存のライセンスをアップグレードして、より多くの製品インスタンスをサポートする 方法について説明します。

⇒ 既存ライセンスのアップグレードの購入とアクティベート

既存の TestComplete 15 ライセンスのアップグレードの購入と適用方法について説明 します。

⇒ 以前のバージョンからのアップグレード

製品の以前のバージョンからアップグレードする際のアップグレード ポリシーについて 説明します。

⇒ License Update Available

[License Update Available] メッセージが表示された際の対応について説明します。

# 既存の TestComplete 15 ライセンスのアッ プグレード

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

TestComplete 15 ライセンスを所有しており、より多くの製品インスタンスを実行したり、 より多くの機能を使用したい場合は、必要な数のライセンスを新規に購入するか、既存ラ イセンスのアップグレードを購入できます。このトピックでは、その違いについて説明し、 適切なアップグレードを選択するためのヒントを紹介します。

⇒ アップグレードか、新しいライセンスか?

⇒ ライセンス アップグレードの仕組み

Node-Locked (ノードロック) ライセンスから Floating User (フローティング ユー ザー) ライセンスへのアップグレード

#### ⇒ アップグレード ライセンスをアクティベートする 2 つの方法

⇒ アップグレードの購入とアクティベート

### アップグレードか、新しいライセンスか?

TestComplete 15 ライセンスを所有しており、より多くの製品インスタンスを使用したい 場合は、新しいライセンスを購入するか、既存ライセンスに製品インスタンスを追加でき ます。どちらの場合も、既存の License Manager PC を使用できます。

新しいライセンスを購入する場合は、License Manager PC でアクティベートできます。 古いライセンスと新しいライセンスは統合されます。License Manager PC 上では統合さ れますが、個別のライセンスのままであることに注意してください。統合を解除して別の License Manager PC に移動することが可能です。

既存ライセンスのアップグレードを選択する場合は、既存のライセンスに新しいプラット フォーム、モジュール、またはアドオンを追加します。この方法で既存のライセンスを アップグレードすると、特別なアップグレード ファイルが提供されるので、それを License Manager PC に適用します。古いライセンスは利用できなくなり、以降はアップ グレードしたライセンスを使用します。

**注意:** ライセンスをアップグレードした後、TestComplete ワークステーションで新しいラ イセンスが提供する機能を手動で有効にします。TestComplete で [File] > [Install Extensions] を選択して、新しいライセンスで提供される機能のセットを見つけて有 効にします。

### ライセンス アップグレードの仕組み

- Node-Locked (ノードロック) ライセンスは、上記の方法ではアップグレードする ことができません。より多くの製品インスタンスを実行したい場合は、新しいライ センスを購入します。ライセンス管理が容易な Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスへのアップグレードを検討してください。
- Floating User (フローティングユーザー) ライセンスを所有している場合、アップ グレードを購入して、ライセンスで管理する TestComplete インスタンスの数を 増やすことができます。

## Node-Locked (ノードロック) ライセンスから Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスへのアップグ レード

Node-Locked (ノードロック) ライセンスを所有しており、Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスにアップグレードしたい場合は、サポート窓口までご連絡ください。

Node-Locked (ノードロック) ライセンスから Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスにアップグレードする場合、ライセンス管理に使用するマシンを選択して、そ のマシンでライセンスをアクティベートします (License Manger PC を変更したほうが良 いかもしれません)。この場合、アップグレードの前か後にライセンスを移動する必要があ ります。詳細は、以下の「アップグレード ライセンスをアクティベートする 2 つの方法」 を参照してください。

## アップグレード ライセンスをアクティベートする 2 つの 方法

アップグレード ライセンス データを適用するには 2 つの方法があります。

• 現在のライセンスがアクティベートされているマシンでアップグレードを適用します (つまり、現在の License Manager PC にアップグレードを適用します)。

- または -

 ライセンスを別の PC に移動して、そのマシンでアップグレードを適用します (つまり、移動とアップグレードを組み合わせることができます)。

既存の License Manager PC でアップグレードする場合は、SmartBear によって更新さ れたライセンスの詳細を含む新しいファイルが生成されます。このファイルを License Manager PC にダウンロードして適用します。これにより、アップグレードで提供される 製品インスタンスと機能が License Manager PC でサポートされます。

別の PC にライセンスを移動する場合、まず現在の License Manager PC でライセンスの アクティベート解除を行う必要があります。その後、別のマシンでライセンスをアクティ ベートする際に使用できる新しいライセンス キーが SmartBear によって生成されます。

アップグレード ライセンスのアクティベート方法については、「既存ライセンスのアップ グレードの購入とアクティベート」を参照してください。 TestComplete 15 ライセンス ドキュメント

### アップグレードの購入とアクティベート

アップグレード ライセンスの購入とアクティベート方法については、「既存ライセンスの アップグレードの購入とアクティベート」を参照してください。

# 既存ライセンスのアップグレードの購入とアク ティベート

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

このトピックでは、既存の TestComplete ライセンスのアップグレードの購入とアクティ ベート方法について説明します。

⇒ 既存ライセンスのアップグレードの購入

⇒ アップグレードのアクティベート

#### 既存ライセンスのアップグレードの購入

新しい TestComplete ライセンスやアップグレードの購入をご希望の場合は、ご連絡ください。

### アップグレードのアクティベート

TestComplete 15 のアップグレード ライセンスをアクティベートするには:

1. SmartBear アカウントにログインします。

https://my.smartbear.com

ログインするには、ライセンス所有者のユーザー名、メール アドレス、および 顧客 ID が必要です。これらの情報は、ライセンス購入後に受け取る電子メールに 記載されています。顧客 ID は [About] ダイアログでも確認できます。[About] ダイアログを表示するには、[Help] > [About] を選択します。

1 TestComplete	
Ele .	Bee -
1	A Stat Bage Out+At+S
Project Warkspace	
Cit Project Explorer	•
G G .	
	About X Ebout Ebout About X About X

- 2. ログインすると、SmartBear アカウント ページに所有する製品のリストが表示されます。製品リストから TestComplete 製品ページに移動します。
- アップグレードを購入したライセンスを見つけて、[Upgrade your license] を クリックします。

(このリンクは、ライセンスのアップグレードを購入すると利用可能になります。 ライセンスに利用可能なアップグレードがない場合は表示されません。)

 リンクをクリックすると、[Upgrade Your License] ウィザードが表示され、 アップグレード手順が示されます。

画面の指示に従ってください。

以下は、アップグレード手順の概要です。

- a. ウィザードでは、最初にアップグレード ライセンスを確認するように求められ ます。
- b. その後、次のいずれかのアップグレードの適用方法を選択します (「ライセン スをアップグレードする 2 つの方法」を参照)。
  - 現在の License Manager PC にアップグレードを適用する
  - ライセンスを別の PC に移動してアップグレードを適用する
- c. アップグレードを適用する場合:
  - ウィザードは、更新されたライセンス データ を含む特別なファイルを生成 します。このファイルを License Manager PC にダウンロードします。
  - License Manager PC で、次の URL を Web ブラウザーで開きます。

http://localhost:1947

Sentinel Admin Control Center ページが表示されます。

- 左側の [Options] メニューで [Update/Attach] をクリックします。
- 次のページでダウンロードしたライセンス データ ファイルを選択して、
   [Apply File] をクリックして License Manager PC 上のライセンスを アップグレードします。
- d. ライセンスを別のマシンに移動する場合:
  - 現在の License Manager PC でライセンスをアクティベート解除します。

アクティベート解除手順にはいくつかのステップがあります。画面の指示 に従ってください。

 ライセンスがアクティベート解除されると、ウィザードは新しいライセン スキーを生成します。これは、SmartBear Web サイトの My SmartBear セクションの TestComplete 製品ページにあります。ログインしてこの ページに移動し、ライセンス キーをコピーして、新しいマシンでライセン スをアクティベートします。このマシンが、アップグレードしたライセン スの License Manager PC になります。

# 以前のバージョンからのアップグレード

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

保守サブスクリプションをお持ちの場合は、以前のバージョンの TestComplete を新しい バージョン 15 に無料でアップグレードできます。そうでない場合は、アップグレード 価格で新しいバージョン 15 にアップグレードできます。アップグレード価格については、 お問い合わせください。

新しい TestComplete バージョンのライセンスと TestComplete インストール パッケー ジのリンクは、SmartBear Web サイトの **My SmartBear** セクションにある TestComplete 製品ページから入手できます。保守サブスクリプションをお持ちの場合は、 新しい TestComplete バージョンが利用可能になると、自動的にアカウントに追加され ます。

- TestComplete インストール パッケージをダウンロードして、必要なマシンに 新しい TestComplete バージョンをインストールしてください。詳細は、 「TestComplete のアップデート」を参照してください。
  - 「古い TestComplete 15 バージョンで作成されたプロジェクトの移行」 で説明されている手順を確認することを推奨します。
- 2. ライセンスを取得して、必要なマシンでアクティベートします。
  - Node-Locked (ノードロック) ライセンスを所有している場合は、 TestComplete がインストールされているマシンでアクティベートします。
    - **注意:** インストール後に TestComplete を起動すると、SmartBear Web サ イトに接続して、自動的にライセンスを新しいバージョンに更新しま す。更新が利用可能な場合 (たとえば、有効な保守サブスクリプション をお持ちの場合)、TestComplete は新しいライセンス キーのアクティ ベートを促すメッセージを表示します。

TestComplete がライセンスの更新に失敗した場合(たとえば、 TestComplete が SmartBear Web サイトにアクセスできない場合 や、ライセンスで利用可能な更新がない場合)、手動で新しいライセン スキーを取得してアクティベートする必要があります。

 Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを所有している場合は、 License Manager PC でアクティベートします。

## License Update Available

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

マシンに新しい TestComplete バージョンをインストールして起動すると、 TestComplete は、「License Update Available (ライセンスの更新が利用可能です)」 メッセージを表示します。 この新しい製品バージョンを使用するには、新しいバージョンのライセンスをアクティ ベートする必要があります (新しいバージョンのライセンスは以前のバージョンのライセ ンスとは異なります)。

一般に、新しいライセンス キーは、https://my.smartbear.com ポータルで見つける ことができます。しかし、**有効なメンテナンス サブスクリプション**をお持ちの場合は、 自動的に新しいライセンスを取得してアクティベートするように TestComplete に指示 できます。

### 新しいライセンスの自動アクティベート

ライセンスを自動的に取得してアクティベートするには、メッセージ ウィンドウで [Activate on this PC] をクリックします。TestComplete は、SmartBear Web サイト に接続して新しいライセンス キーを取得し、マシンで新しい Node-Locked (ノードロッ ク) ライセンスをアクティベートします (マシンにある以前のバージョンのライセンスも Node-Locked (ノードロック) の場合)。

#### 注意:

- 新しいライセンスを取得しても、以前のライセンスはマシンから削除されません。
   以前のバージョンの製品は、引き続きマシンで使用できます。
- 有効なメンテナンス サブスクリプションをお持ちの場合、この操作は無料です。
- TestComplete が SmartBear Web サイトにアクセスできない場合 (たとえば、 インターネットから切断された場合)、手動で新しいライセンス キーを取得して アクティベートする必要があります。

## ライセンスをアクティベートしたくない場合

次のような理由で、自動的に新しいライセンス キーを取得してアクティベートしたくない 場合があります。

- 特定のライセンスキーを使用したい場合
- 別のマシンで新しいライセンスをアクティベートしたい場合

この場合、[Do not activate this license] をクリックします。TestComplete は、特定 のライセンス キーのアクティベート、紛失したライセンスの復元、Floating User (フロー ティング ユーザー) ライセンスの消費 (ネットワーク内にライセンス サーバーがある場合) などの操作を行うことができる別のメッセージ ボックスを表示します。

#### 質問がある場合

ライセンスの更新に関する質問は、サポート窓口までご連絡ください。

# ライセンスの更新

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

このセクションのトピックでは、TestComplete ライセンスを更新しなければならない 状況について説明します。

⇒ ライセンスを更新する必要がある場合

TestComplete ライセンスを更新する必要がある場合について説明します。

⇒ TestComplete 評価版から製品版への更新

製品版を購入後に、TestComplete 評価版ライセンスから更新する方法について説明します。

⇒ ライセンス アップグレードに伴うライセンスの更新

同時に実行できる TestComplete インスタンスの数を増やすため、ライセンスをアップ グレードする方法について説明します。

⇒ ハードウェア変更に伴うライセンスの更新

ライセンスの更新が必要になるハードウェアの変更について説明します。

 ・ オペレーティング システムの再インストールまたはアップグレードに伴うライセンス
の更新

ライセンスの更新が必要になるオペレーティング システムの変更について説明します。

## ライセンスを更新する必要がある場合

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

次の場合は、TestComplete ライセンスを更新する必要があります。

- TestComplete 評価版から製品版に更新する場合。詳細は、「TestComplete 評価 版から製品版への更新」を参照してください。
- Floating User (フローティングユーザー) ライセンスをアップグレードする場合。
   詳細は、「ライセンス アップグレードに伴うライセンスの更新」を参照してください。
- TestComplete を別のマシンに移動する場合。詳細は、「ライセンスのアンインストールと移動」を参照してください。
- マシンのハードウェア変更に伴ってライセンスがアクティベート解除された場合。
   詳細は、「ハードウェア変更に伴うライセンスの更新」を参照してください。
- オペレーティング システムを再インストールまたはアップグレードする場合。
   詳細は、「オペレーティング システムの再インストールまたはアップグレードに
   伴うライセンスの更新」を参照してください。

それぞれのケースで TestComplete ライセンスを更新する方法は、リンク先の情報を確認 してください。

## TestComplete 評価版から製品版への更新

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

TestComplete 評価版を製品版に置き換えるには、評価版ライセンスを TestComplete 購入後に受け取った製品版ライセンスに置き換える必要があります。TestComplete を 再インストールする必要はありません。 重要:

- TestComplete 評価版ライセンスを、本の製品の別の評価版ライセンスに置き換えることはできません。置き換えようとすると、エラーになります。製品の評価版は、製品版にのみ置き換えることができます (詳細は以下を参照)。
- TestComplete 製品版ライセンスを仮想環境でアクティベートすることはできません。評価版ライセンスがクラウドや仮想マシンでアクティベートされている場合は、製品版に更新することはできません。物理マシンで製品版ライセンスをアクティベートしてください。

仮想環境での TestComplete の使用については、「仮想環境での TestComplete の使用」を参照してください。

アップグレード手順は簡単です。

• SmartBear アカウントにログインします。

https://my.smartbear.com

- TestComplete 製品ページを開いて、ライセンス キーを見つけます。
- 以下のトピックで説明するように、License Manager PC でライセンス キーを入 力します。

⇒ Node-Locked (ノードロック) ライセンスのアクティベート

⇒ Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスのアクティベート

#### 注意:

- 製品版ライセンス キーをアクティベートすると、評価版ライセンス キーは無効に なります。
  - 重要:現在のキーをアップグレードすると、既存の情報が新しいアクティベート 情報に置き換わります。評価版には3つのTestCompleteモジュール (Desktop、Web、および Mobile)がすべて含まれているため、製品版ラ イセンスをアクティベートすると一部の機能が利用できなくなる場合があ ります。詳細は、「ライセンスの更新後に一部の機能が利用不可になる」 と「既存のTestComplete 15 ライセンスのアップグレード」を参照して ください。

# ライセンス アップグレードに伴うライセンス の更新

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを所有している場合、各製品でより 多くのインスタンスをサポートする TestComplete ライセンスのアップグレードを購入で きます。この場合、License Manager PC で新しいライセンスをアクティベートするだけ です。詳細は、「既存ライセンスのアップグレードの購入とアクティベート」を参照して ください。

Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを使用しているので、License Manager PC でのみ新しいライセンスをアクティベートする必要があります。 TestComplete ワークステーションでアクティベートする必要はありません。

注意: アップグレードをアクティベートすると、古いライセンスは無効になります。

## ハードウェア変更に伴うライセンスの更新

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

### ライセンスの更新が必要になるハードウェアの変更

TestComplete ライセンスのアクティベート時に License Manager が送信するアクティ ベーション要求には、License Manager PC 固有のデータである、マザーボード ID と マスター ハードドライブ シリアル番号が含まれています。このデータは、別のマシンで TestComplete ライセンスがアクティベートされることを防ぐために使用されます。

License Manager PC のマザーボードまたはマスター ハードドライブのいずれかを交換す ると、ハードウェア アップグレードとして認識されます。この場合、ライセンスを更新す る必要はありません。 しかし、License Manager PC のマザーボードとマスター ハードドライブの**両方**を交換 した場合、ハードウェア アップグレードと、別のマシンで TestComplete ライセンスを アクティベートしようとしていることを区別できないため、ライセンスの更新が必要にな ります。

Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを所有している場合は、License Manager PC でのみライセンスを更新する必要があります。ワークステーションで実行し ている TestComplete を更新する必要はありません。

### ライセンスの更新

すべての更新操作は、License Manager PC で行われます。Node-Locked (ノードロック) ライセンスの場合、これは TestComplete がインストールされている PC です。Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスの場合、これは TestComplete ライセンスを アクティベートした PC です (詳細は「ライセンス システムについて」を参照)。

ライセンスの更新には以下の手順があります。

1. **ハードウェアをアップグレードする前の準備:** License Manager PC で TestComplete ライセンスをアクティベート解除します。詳しい手順については、 「ライセンスのアクティベート解除と移動」を参照してください。

ライセンスをアクティベート解除したら、新しいライセンスキーを取得します。

- 2. ハードウェアを交換します。
- 3. 「ライセンスのアクティベート」セクションの説明に従って、新しいライセンス キーを使用して TestComplete ライセンスをアクティベートします。

#### 質問または問題がある場合

何らかの理由でこれらの手順を実行できない場合は、サポート窓口までご連絡ください。

# オペレーティング システムの再インストール またはアップグレードに伴うライセンスの更新

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

TestComplete ライセンスをインストールしてアクティベートすると、License Manager はアクティベート情報をハードドライブに保存します。新しいオペレーティング システム をインストールすると、この情報が失われる場合があります。これはオペレーティング シ ステムがインストールされるモードに依存します。

Windows オペレーティング システムは、アップグレード モードでインストールすること ができます。このモードでは、インストール プログラムが、以前のオペレーティング システムで使用していたファイル、アプリケーション、および設定を保持するため、 TestComplete ライセンスを更新する必要はありません。インストール プログラムがこれ らのファイル、アプリケーション、および設定を保持しない場合、TestComplete ライセ ンスを更新するため特別な操作を行う必要があります。

このため、オペレーティング システムをアップデートする前に、アップグレード モード でインストールできるかどうかを確認してください。アップグレード モードが利用できな い場合は、オペレーティング システムをインストールする前に TestComplete ライセン スをアクティベート解除して、オペレーティング システムをインストールした後に TestComplete ライセンスをアクティベートする必要があります。詳細は、以下を参照し てください。

#### アップグレード モードの利用可否を確認する方法

通常、Microsoft オペレーティング システムは、以前のバージョンのオペレーティング システムにアップグレード モードでインストールできます。たとえば、Windows 7 に Windows 8.1 をアップグレード モードでインストールしたり、Windows 8.1 に Windows 10 をアップグレード モードでインストールすることが可能です。つまり、オペ レーティング システムを Windows 7 から Windows 8、または Windows 8 から Windows 10 にアップグレードする場合、TestComplete ライセンスを更新する必要はあ りません。

Windows オペレーティング システムのバージョンによっては、使用しているオペレー ティング システムにアップグレード モードでインストールできない場合があります。 たとえば、32 ビット版から 64 ビット版や、上位エディションから下位エディション (Windows 7 Ultimate から Windows 8.1 Home Basic など) にアップグレードすること はできません。アップグレード モードでのインストールの可否については、オペレーティ ング システムのドキュメントを参照してください。

### TestComplete ライセンスの更新

オペレーティング システムをアップグレード モードでインストールできない場合は、 以下の手順に従います。

1. オペレーティング システムをインストールする前の準備: 「ライセンスのアクティ ベート解除と移動」の説明に従って、License Manager でアクティベート解除を 行います。

これにより、License Manager PC にバインドされていたライセンスが解放され ます。その後、SmartBear Web サイトの My SmartBear セクションの TestComplete ページから新しいライセンス キーを取得します。

- 2. 新しいオペレーティング システムをインストールします。
- 3. 新しいライセンス キーを使用して、License Manager PC でライセンスをアク ティベートします。詳しい手順は、「ライセンスのアクティベート」を参照してく ださい。
  - **注意:** Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを所有している場合 は、License Manager PC のオペレーティング システムをアップデートす る場合にのみこの操作を行う必要があります。TestComplete がインス トールされているワークステーションでは、この操作は必要ありません。

# ライセンスのアクティベート解除と移動

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

このトピックでは、TestComplete ライセンスをアクティベート解除して別のマシンへ 移動する方法について説明します。

- ⇒ アクティベート解除が必要な理由
- ⇒ 注意
- ⇒ 自動アクティベート解除
- ⇒ 手動アクティベート解除
- ⇒ アクティベート解除後にライセンスをアクティベートする方法

⇒ アクティベート解除できない場合

#### アクティベート解除が必要な理由

ライセンスをアクティベートすると、ライセンスはマシンに「バインド」されます。次の 場合には、ライセンスのアクティベート解除が必要です。

- TestComplete ライセンスを別のマシンに移動する場合。現在のマシンでライセン スをアクティベート解除しないと、新しいマシンでライセンスをアクティベートで きません。
- ライセンスをアップグレードする場合(たとえば、Node-Locked (ノードロック) ライセンスから Floating User (フローティングユーザー)へのアップグレード)、 または現在のライセンスを別のライセンスの置き換える場合。

#### 注意

- 同じマシンで複数の Floating User (フローティング ユーザー) ライセン スがアクティベートされている場合、個別のライセンスをアクティベート 解除することはできません。マシン上のすべてのライセンスがアクティ ベート解除されます。
- アクティベート解除すると、SmartBear は新しいライセンス キーを生成します。
   このキーを使用して、別のマシンで TestComplete をアクティベートできます。
   キーは My SmartBear ポータル (https://my.smartbear.com) から取得できます。
- アクティベート解除は、自動または手動で行うことができます。

自動アクティベート解除では、ウィザードが SmartBear Web サイトと自動的 にデータをやり取りします。このモードは高速であり、お勧めです。ライセンス をアクティベート解除するマシンがインターネットに接続されており、 SmartBear ライセンス Web サイト (https://ls1.smartbear.com または https://ls2.smartbear.com、ポート 443) にアクセスできる必要があり ます。

手動アクティベート解除では、SmartBear Web サイトと手動でデータをやり取り します。License Manager PC がインターネットに接続できない場合はこのモード を選択します。

### 自動アクティベート解除

マシンからライセンス管理モジュールをアンインストールするか、[License Management] ウィザードを使用してライセンスをアクティベート解除できます。

⇒ ライセンス モジュールのアンインストール

#### ライセンス モジュールをアンインストールする場合

TestComplete (または License Manager ユーティリティ)のアンインストールを開始す ると、アンインストール ウィザードは PC 上でアクティベートされているライセンスを検 索します。ライセンスが検出されると、ライセンスのアクティベート解除を確認するダイ アログ ボックスが表示されます。同意すると、ウィザードはライセンスをアクティベート 解除して、TestComplete (またはユーティリティ)のアンインストールを続行します。

#### [License Management] ウィザードを使用する場合

- 1. [License Management] ウィザードを起動します。
  - License Manager ユーティリティを使用する場合は、オペレーティング シス テムの [スタート] ボタン (または Windows ボタン) をクリックして、 メニューから [すべてのプログラム] > [SmartBear] > [License Manager]
     > [Activate or Deactivate License] を選択します。

- または -

- マシンに TestComplete インスタンスがインストールされている場合は、 TestComplete のメインメニューから [Help] > [Activate or Deactivate License] を選択します。
- ウィザードの最初のページで、[Move or deactivate the selected license] を 選択して、アクティベート解除するライセンスを指定します。[Next] をクリック します。

- **注意:** ライセンスを自動アクティベート解除するには、インターネット接続と SmartBear ライセンス Web サーバー (https://ls1.smartbear.com また は https://ls2.smartbear.com、ポート 443) へのアクセスが必要です。
- 3. プロキシ サーバーを使用している場合は、ウィザードの次のページで **[I use** proxy that requires authentication] を選択して、プロキシ サーバーのユー ザー名とパスワードを入力します。
- 4. **[Deactivate]** をクリックします。ウィザードは、指定されたライセンスをアク ティベート解除します。

アクティベート解除されると、アクティベート解除が完了したことを示すウィザードの 最後のページが表示されます。[License Management] ウィザードを閉じます。

アクティベート解除に失敗すると、問題の説明を含むエラー メッセージが表示されます。

#### 手動アクティベート解除

#### 1. 仲介マシンを用意

手動アクティベート解除では、SmartBear Web サイトと手動でデータをやり取りします。 そのため、インターネットに接続されているマシンが必要です。このマシンを、License Manager PC と SmartBear Web サイトの仲介として使用します。License Manager PC から仲介マシンにファイルを送り、仲介マシンから SmartBear Web サイトに転送し、 Web サイトから仲介マシンにファイルをダウンロードして、仲介マシンから License Manager PC に転送します。

仲介マシンは SmartBear Web サイトの My SmartBear セクション (https://my.smartbear.com) にアクセスできる必要があります。ネットワークで動作し ているプロキシやファイアウォールが、この Web サイトへのアクセスをブロックしない ことを確認してください。

#### 2. アクティベート解除の手順

SmartBear Web サイトの My SmartBear セクションから、または [License Management] ウィザードを使用して、手動でライセンスをアクティベート解除できます。

⇒ Web サイトから行う場合

⇒ [License Management] ウィザードを使用する場合

#### Web サイトから行う場合

1. My SmartBear ポータルにログインします。

https://my.smartbear.com

ログイン認証情報は、TestComplete ライセンスを購入後に受け取った電子メール に記載されています。

- 2. ライセンスをアクティベート解除する TestComplete バージョンの横の [Latest Version] カラムにあるリンクをクリックします。ライセンス情報ページが表示されます。
- 3. 右のサイドメニューから [Deactivate License] を選択して、画面の指示に従っ てください。

#### [License Management] ウィザードを使用する場合

- 1. [License Management] ウィザードを起動します。
  - TestComplete のメインメニューから [Help] > [Activate or Deactivate License] を選択します。

- または -

- License Manager ユーティリティを使用する場合は、[スタート] ボタン (または Windows ボタン)をクリックして、[すべてのプログラム] > [SmartBear] > [License Manager] > [Activate or Deactivate License] を選択します。
- ウィザードの最初のページで、[Move or deactivate the selected license] を 選択して、リストからアクティベート解除するライセンスを指定して、[Next] を クリックします。

マシンが Web に接続されていない場合や SmartBear ライセンス Web サイト (https://ls1.smartbear.com または https://ls2.smartbear.com、 ポート 443) にアクセスできない場合、ウィザードはエラー メッセージを表示し て、オフライン (手動) アクティベート解除の使用を促します。オフライン (手動) アクティベート解除の使用を選択します。

3. ウィザードは、マシンでアクティベートされている SmartBear 製品ライセンスに 関する情報を含むファイルを生成します。このファイルを SmartBear Web サイ TestComplete 15 ライセンス ドキュメント

ト にアップロードする必要があります。インターネットに接続されているマシン から、ウィザードのページに表示されている指示に従ってください。

この操作を行うことで、SmartBear Web サイトによってアクティベート解除デー タを含むファイルが生成されます。このファイルを SmartBear Web サイトから ダウンロードしてマシンにコピーし、ウィザードの [Next] ボタンをクリックして 次に進みます。

 ウィザードの次のページでアクティベート解除ファイルの名前を指定して、 [Deactivate] をクリックします。ウィザードは、マシンから TestComplete ラ イセンスに関する情報を削除します。

アクティベート解除されると、ウィザードの次のページが表示されます (以下を参照)。アクティベート解除に失敗すると、問題の説明を含むエラー メッセージが表示されます。

5. I ライセンス データを削除後に、ウィザードはマシンに保存されていた製品ライ センスに関する情報を含む新しいファイルを生成します。このファイルを SmartBear Web サイトにアップロードして、アクティベート解除を確認する必要 があります。その後、別のマシンで TestComplete をアクティベートするための 新しいライセンス キーを取得できます。

ウィザードに生成された確認ファイルの名前とアップロード手順が表示されるので、 指示に従って、アクティベート解除を完了し、新しいライセンス キーを取得して ください。

### アクティベート解除後にライセンスをアクティベートする 方法

1. My SmartBear ポータルにログインします。

#### https://my.smartbear.com

ログイン認証情報は、TestComplete ライセンスを購入後に受け取った電子メール に記載されています。

- 2. ライセンスをアクティベート解除した TestComplete バージョンのライセンスの 詳細ページを開きます。
- 3. [License Keys] テーブルにスクロール ダウンして、[Get new product key] をクリックします。

新しいライセンス キーを使用して、このライセンスを再度アクティベートできます (詳細は、「ライセンスのアクティベート」を参照)。

#### アクティベート解除できない場合

ライセンスのアクティベート解除を行うには、License Manager PC に TestComplete ライセンス管理モジュールがインストールされている必要があります。このモジュールを 利用できない場合、アクティベート解除することはできません。たとえば、モジュールが 破損している場合、License Manager PC が破損している場合、License Manager PC を 起動できな場合、オペレーティング システムにログインできない場合などが考えられます。

ハードウェアまたはソフトウェアの問題により、自動または手動アクティベート解除がで きない場合は、サポート窓口までご連絡ください。

# ハウツー

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

このセクションのトピックでは、ライセンスに関するさまざまな質問と License Manager の設定と制御方法について説明します。

⇒ 一般的な質問

ライセンスに関する一般的な質問を紹介します。

⇒ License Manager の操作

License Manager の設定方法を説明します。

一般的な質問

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

このセクションでは、TestComplete ライセンスの使用に関する一般的な質問と回答を 紹介します。以下のトピックが含まれます。

### このセクションのトピック

- ⇒ ライセンスの種類の理解
- → TestComplete モジュールとアドオンの実行
- ⇒ 仮想マシンでの使用
- ⇒ 大規模な組織でのインストール
- ⇒ WAN での TestComplete の使用
- ⇒ オフィス間でのライセンスの共有
- ⇒ VPN での TestComplete の使用
- ⇒ リモート デスクトップの使用
- ⇒ クラウドでの TestComplete の使用
- ⇒ ライセンス使用統計の表示

## ライセンスの種類の理解

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。 所有しているライセンスの種類は、SmartBear Web サイトの My SmartBear セクションの **TestComplete** 製品ページで確認できます。または、製品から直接確認することができます。

- 1. TestComplete のメインメニューから [Help] > [About] を選択します。
- 2. [About] ダイアログに次の情報が表示されます。
  - Desktop、Web、Mobile モジュールのライセンスの種類 (サブスクリプション または恒久ライセンス)
  - Intelligent Quality アドオン サブスクリプションの残りの日数 (所有している 場合)
  - 顧客 ID

Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを所有している場合、 TestComplete インスタンスのライセンスをチェックアウトした License Manager PC も表示されます。



注意: 異なる TestComplete サブシステムは、異なるライセンス サーバーから Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを消費できます。 ダイアログには、TestComplete が (製品の起動に必要な) プラット フォーム ライセンスをチェックアウトしたライセンス サーバーが表示さ れます。

## TestComplete モジュールとアドオンの実行

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

さまざまな種類のアプリケーションをテストする場合、異なる TestComplete モジュール (Desktop、Web、Mobile) やアドオン (Intelligent Quality) のライセンスが必要になるこ とがあります。たとえば、ある QA エンジニアがあるテスト アプリケーション (Web) か ら別のテスト アプリケーション (Desktop) に切り替えて、Web と Desktop モジュール のライセンスを消費している場合、別の QA エンジニアが Web アプリケーションのテス トを開始すると、このモジュールのライセンスは最初の QA エンジニアによってすでに消 費されています。

このような状況を回避して、QA チーム内で効率良くライセンスを共有するため、 TestComplete の EnableModule コマンドライン引数を使用できます。この引数は、製品 の起動時に TestComplete モジュールとアドオンを有効/無効にします。

 必要なモジュールとアドオンを指定したさまざまな TestComplete ショートカットを作成できます。たとえば、次のショートカットは、TestComplete の起動時に Web と Mobile モジュールを有効にします。Desktop モジュールと Intelligent Quality アドオンは無効になります。

<TestComplete Folder>\TestComplete.exe -EnableModule:Web -EnableModule:Mobile

TestComplete を起動するさまざまなバッチ ファイルを作成して、必要なモジュールやアドオンを指定することもできます。たとえば、次のバッチ ファイルは、Web と Mobile モジュールを有効にして TestComplete を起動します。

REM Launches TestComplete with the Desktop and Web modules <TestComplete Folder>\TestComplete.exe /EnableModule:Desktop /EnableModule:Web

## 仮想マシンでの TestComplete の使用

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

#### 概要

仮想マシンで TestComplete のテストを作成して実行できますが、そのためにはライセンス サーバーとライセンスを設定する必要があります。

#### 想定される問題

TestComplete ライセンスは、ライセンスをアクティベートしたマシン(マシンの MAC アドレス、CPU ID、仮想マシンの UUID) にバインドされます。仮想マシンでライセンス をアクティベートすると、ライセンスは仮想マシンを実行している物理マシンにバインド されます。仮想マシンを別の物理マシンに移動すると、ハードウェアのプロパティ (CPU ID など)が変更されるため、TestComplete License Manager はこの状況をマシンの 複製として扱い、製品を起動できません。

#### 回避策

ハードウェアのプロパティが変わらないマシンでライセンスをアクティベートします。 仮想マシンでライセンスをアクティベートした場合は、アクティベート後に仮想マシンを 移動しないようにします。

#### 評価版ライセンス

TestComplete 評価版ライセンスは、特別な種類の Node-Locked (ノードロック) ライセンスです。評価版ライセンスは、仮想マシンでアクティベートして使用できます。つまり、仮想マシンでアクティベートして評価することが可能です。仮想マシンは、ライセンスをアクティベートしたのと同じ物理マシンで実行することを推奨します。

#### 製品版ライセンス

#### Node-Locked (ノードロック) ライセンス

TestComplete 製品版の Node-Locked (ノードロック) ライセンスは、クラウド マシンで アクティベートできません。Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを使用 する必要があります。(以下を参照)。Node-Locked (ノードロック ライセンス) から Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスへのアップグレードについては、 お問い合わせください。 TestComplete 15 ライセンス ドキュメント

#### Floating User (フローティング ユーザー) ライセンス

- 1. ネットワーク内の**物理**マシン上で Floating User (フローティング ユーザー) ライ センスをアクティベートします。
- 2. TestComplete インスタンスを仮想マシンにインストールします。
- 3. 仮想マシンがローカル ネットワークに接続され、License Manager にアクセスで きることを確認してください。

必要に応じて、リモートの License Manager にアクセスできるように、 TestComplete インスタンスがインストールされたマシンでライセンスの設定を 変更してください。詳細は、「接続する License Manager の指定」を参照して ください。

Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを使用すると、以下のことが可能に なります。

- ライセンスを容易に管理できます。
- TestComplete がインストールされた仮想マシンを無制限に作成、設定、複製、 および削除できます。

#### TestExecute ライセンスの使用

仮想マシンで (テストの作成やデバッグではなく) 自動テストを実行する必要がある場合、 TestExecute を使用することが可能です。TestExecute は、TestComplete がインストー ルされていないマシンで TestComplete のテストを実行することができるリソース フレ ンドリーな製品です。

- TestExecute ライセンスは、Floating User (フローティング ユーザー) ライセン スです。物理マシンでアクティベートします。TestComplete ライセンスをアク ティベートしたのと同じマシンを選択することができます。
- TestExecute を仮想マシンにインストールします。
- 仮想マシンと License Manager PC がネットワークで接続されていることを確認 してください。ネットワークで動作しているプロキシやファイアウォールが、 License Manager PC への接続を許可している必要があります。必要に応じて、 License Manager に接続できるように、仮想マシンで TestExecute ライセンスの 設定を変更します。詳細は、「接続する License Manager の指定」を参照して ください。

## 大規模な組織でのインストール

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

このトピックでは、大規模な組織における TestComplete のインストールとアクティベートについて説明します。

### 選択するライセンスの種類

同時に実行する複数の TestComplete ライセンスを購入する場合、必要なユーザー数分 の Node-Locked (ノードロック) ライセンスではなく、同じ数の Floating User (フロー ティング ユーザー) ライセンスを購入することを推奨します。たとえば、TestComplete を 10 個購入する場合、10 個の Node-Locked (ノードロック) ライセンスではなく、 10 ユーザーの Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを購入することを お勧めします。そのほうが、ライセンスのアクティベートが容易であり、仮想マシンでも 使用できます。

Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスでは、1 台のマシンに License Manager をインストールしてライセンスをアクティベートします。ほかのマシンでは、 アクティベートする必要がありません (ただし、License Manager にネットワーク接続されている必要があります。詳細は、「接続する License Manager の指定」と「License Manager に接続可能なユーザーの指定」を参照してください)。

10 個の Node-Locked (ノードロック) ライセンスを購入すると、各マシンでライセンス をアクティベートする必要があります。

### ライセンスのアップグレード

Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを使用する場合、ライセンスのアッ プグレード方法について注意が必要です。TestComplete 15 ライセンスを所有している場 合、追加のインスタンスを新規ライセンスとして購入するか、既存ライセンスのアップグ レードを購入できます。アップグレードすることを推奨します。詳細は、「既存の TestComplete 15 ライセンスのアップグレード」を参照してください。

## WAN での TestComplete の使用

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

TestComplete Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスは WAN で使用でき ます。これにより、外出先でも自分のマシンで TestComplete を実行したり、社内の複数 のオフィスで1つの TestComplete ライセンスを共有することが可能です。

デフォルトでは、TestComplete は、ブロードキャスト メッセージを使用して License Manager を検索します。このメッセージは、ローカル ネットワークでのみ機能します。 そのため、デフォルトの検索設定では、同じ License Manager を社内の複数のオフィス で使用する場合に問題が発生します。

この問題を解決する方法は 2 つあります。1 つ目の方法は、TestComplete ワークステーションの検索設定を変更して、License Manager PC の IP アドレスを指定します。2 つ目の方法は、必要なすべてのマシンを VPN に含めます。どちらの方法をお選びいただいてもかまいません。

#### 検索設定の変更

License Manager がローカル ネットワーク内にない場合、TestComplete ワークステー ションの検索設定を変更して、TestComplete (または TestExecute) が接続する License Manager マシンを指定します。

- 1. License Manager PC に静的な外部 IP アドレスを割り当てます。必要に応じて、 ネットワーク管理者に確認してください。TestComplete が License Manager PC に接続するためには、静的 IP アドレスが必要です。
- TestComplete ワークステーションで検索設定を変更し、静的 IP アドレスを 使用して License Manager PC を指定します。検索設定の変更方法については、 「接続する License Manager の指定」を参照してください。

### VPN ネットワークの構築

静的 IP アドレスを指定する代わりに、TestComplete ワークステーションと License Manager PC を同じ仮想プライベート ネットワーク (VPN) に含めることができます。 VPN では、その中に含まれるすべてのマシンが、同じローカル ネットワーク内にあるか のように相互作用します。 必要に応じて、ネットワーク管理者に VPN の構築を依頼してください。

VPN 設定によっては、ブロードキャスト要求が無視されることに注意してください。この 場合、TestComplete ワークステーションで検索設定を変更して、VPN で License Manager に接続する際に使用する名前またはネットワーク アドレスを指定します。詳細 は、「VPN での TestComplete の使用」を参照してください。

## オフィス間でのライセンスの共有

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

TestComplete Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスは広域ネットワーク (WAN) 内で使用できます (詳細は、「WAN での TestComplete の使用」を参照)。これ により、1 つの TestComplete ライセンスを社内の複数のオフィスで共有することが可能 です。

デフォルトでは、TestComplete が License Manager の検索に使用する設定は、ローカルネットワークでのみ機能します。そのため、ライセンスを共有するには、検索設定を変更するか、VPN を構築する必要があります。詳細は、「WAN での TestComplete の使用」を参照してください。

ライセンスを共有する決定を下す前に、ライセンスの使用方法について検討してください。 社内の複数のオフィスでライセンスを共有する場合、1 つのオフィスに License Manager PC を配置して、ほかのオフィスのマシンはこの PC に接続してライセンスを確認します。 そのため、ほかのオフィスは License Manager PC が配置されたオフィスに依存します。 これは不便なこともあります。たとえば、ライセンスを共有するオフィスが世界中の異な る国に存在する場合、不便に感じるかもしれません。

ライセンスの共有は、1 つのオフィスで TestComplete を頻繁に使用し、ほかのオフィス でもときどき使用する場合に適しています。複数のオフィスで TestComplete を頻繁に 使用する場合は、オフィスごとに個別のライセンスを購入することを推奨します。

## VPN での TestComplete の使用

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

TestComplete Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスと TestExecute は、 仮想プライベート ネットワーク (VPN) で使用できます。VPN では、その中に含まれる すべてのマシンが、同じローカル ネットワーク内にあるかのように相互作用します。

ただし、TestComplete ワークステーションや TestExecute ワークステーションで検索設 定を変更する必要があります。デフォルトでは、TestComplete ライセンス サブシステム は、ブロードキャスト メッセージを使用して License Manager を検索します。VPN 設定 によっては、このメッセージは VPN では機能しません。この場合、TestComplete ワー クステーションで検索設定を変更して、TestComplete (または TestExecute) が接続する License Manager PC を指定します。

- 1. TestComplete ワークステーションや TestExecute ワークステーションで http://localhost:1947 を開きます。Sentinel Admin Control Center が表示され ます。
- 2. 左側のメニューから [Configuration] を選択します。これにより、設定ページが 開きます。
- 3. Access to Remote License Managers ページに切り替えます。
- 4. このページの [Specify Search Parameters] ボックスで License Manager PC の名前または IP アドレスを指定します。

注意: VPN でこの PC に接続するときと同じアドレスを入力します。

5. [Submit] をクリックして、変更を適用します。

# リモート デスクトップ サービスでの TestComplete の使用

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。 TestComplete をサーバーベース (または Citrix) 環境で使用できます。TestComplete を サーバーにインストールして、このサーバーでリモート デスクトップ サービスなどを利 用していくつかのサーバー セッションを開き、これらのユーザー セッションで TestComplete を使用します。つまり、強力なサーバーに TestComplete をインストール して、ワークステーション (「シン クライアント」) から使用することが可能です。

セッションで実行できる TestComplete インスタンスの数は、ライセンスにより異なり ます。

- Node-Locked (ノードロック) ライセンスの場合、マシンで同時に 1 つの TestComplete インスタンスを実行できます。そのため、1 つのユーザー セッ ションでのみ TestComplete を使用することが可能です。
- Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスの場合、同時に実行できる TestComplete インスタンスの数はライセンス キーで指定されています。キーで 指定されている数を超えるインスタンスを使用することはできません。

リモート デスクトップ接続を介してテスト プロジェクトを実行する場合、サーバーで 必要な数の TestComplete インスタンスの Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを使用することを推奨します。

あるいは、TestExecute ライセンスを購入してサーバーにインストールし、TestExecute を使用してユーザー セッションでテストを実行することも可能です。

## クラウド マシンでの TestComplete の使用

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

#### 概要

クラウド マシンで TestComplete テストを作成して実行できますが、そのためにはライ センス サーバーとライセンスを設定する必要があります。
### 想定される問題

TestComplete ライセンスは、ライセンスをアクティベートしたマシン(マシンの MAC アドレス、CPU ID、仮想マシンの UUID)にバインドされます。クラウド マシンは仮想マ シンです。クラウド マシンでライセンスをアクティベートすると、ライセンスはクラウド マシンを実行している物理マシンにバインドされます。クラウド マシンを再起動すると ハードウェアのプロパティ (CPU ID など)が変更されるため、TestComplete License Manager はこの状況をマシンの複製として扱い、製品を実行できません。

#### 回避策

#### 評価版ライセンス

TestComplete 評価版ライセンスは、特別な種類の Node-Locked (ノードロック) ライ センスです。評価版ライセンスは、クラウドや仮想マシンでアクティベートして使用でき ます。つまり、クラウド マシンで TestComplete 評価版ライセンスをアクティベートし て評価することが可能です。

特定のケースでは、クラウド マシンで評価版ライセンスをアクティベートすると、 TestComplete がライセンスの不正使用と見なす場合があります。この場合、以下の いずれかを試してみてください。

 同じライセンス キーを使用して、物理 PC または (クラウドでない) 仮想マシンで アクティベートします。これは、ライセンス キーをまだどのマシンでもアクティ ベートしていない場合に可能です。すでにアクティベートされている場合、同じ キーを再度使用することはできません。

- または -

• SmartBear Web サイトで別の評価版ライセンスを申し込んでください。

- または -

サポート窓口までご連絡ください。

### 製品版ライセンス

### Node-Locked (ノードロック) ライセンス

TestComplete 製品版の Node-Locked (ノードロック) ライセンスは、クラウド マシンで アクティベートできません。Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを使用 する必要があります。(以下を参照)。Node-Locked (ノードロック ライセンス) から Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスへのアップグレードについては、 お問い合わせください。

### Floating User (フローティング ユーザー) ライセンス

- 1. ネットワーク内の物理マシン上で Floating User (フローティング ユーザー) ライ センスをアクティベートします。
- アクティベートした Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを、 クラウドで実行する TestComplete インスタンスと TestExecute インスタンスが 使用できるように、クラウド マシンでライセンス設定を変更します。

クラウド マシンは多くの場合、ローカル ネットワークの外で実行され、ローカル ネットワーク内の License Manager PC にアクセスする必要があります。

#### オプション 1

- a. License Manager PC と TestComplete が同じネットワーク内にあるかのよう に動作するように、仮想プライベート ネットワーク (VPN) を構築します。
- b. 必要に応じて、License Manager PC 上のライセンスを検索できるように、
   クラウド マシンの検索設定を変更します。詳細は、「VPN での
   TestCompleteの使用」を参照してください。

検索設定で License Manager PC を指定する場合、可能であれば IP アドレス ではなく、マシンの名前を使用します。これにより、動的 IP アドレスを使用 するネットワークの設定が簡素化されます。

#### オプション 2

- a. License Manager PC に恒久的なパブリック IP アドレスを割り当てます。
- b. TestComplete を実行するクラウド マシンごとに、TestComplete ライセンス サブシステムの検索設定を開いて、License Manager の IP アドレスを指定し ます。詳細は、「接続する License Manager の指定」を参照してください。

#### プライベート クラウド

プライベート クラウド マシンは、License Manager PC と同じネットワーク内に 存在する場合があります。この場合、クラウド マシンで TestComplete ライセン ス サブシステムの検索設定を開いて、License Manager のマシン名または IP ア ドレスを指定する必要があります。詳細は、「接続する License Manager の指定」 を参照してください。

注意: ネットワークが動的 IP アドレスを使用している場合、マシン名を使用する ことをお勧めします。

### SmartBear へのお問い合わせ

クラウドでの TestComplete の使用に関して質問したり、サポートが必要な場合は、 サポート窓口までご連絡ください。

# ライセンス使用統計の表示

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

社内における TestComplete Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスの使用 状況を理解するには、License Manager PC で HASP Log Analyzer ユーティリティを使 用できます。これは License Manager に含まれるユーティリティで、License Manager PC の次の場所にあります。

<License Manager>\LogAnalyzer\HaspLogAnalyzer.exe

HASP Log Analyzer は、以下の質問に対する答えを見つけるのに役立ちます。

- 社内で TestComplete を毎日、毎週、毎月、あるいはその他の頻度で使用する 社員の数は?
- 誰がどの TestComplete モジュール (Desktop、Web、Mobile) と Intelligent Quality アドオンを使用しているか?
- 追加の TestComplete ライセンスが必要か? どのくらい必要か?

HASP Log Analyzer を使用する前に、License Manager PC でライセンス使用状況のログ 記録を有効にする必要があります。詳細は、HASP Log Analyzer ヘルプ ファイルを参照 してください (ユーティリティで **F1** キーを押すと表示されます)。

# License Manager の操作

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

- このセクションでは、License Manager で実行できる一般的な操作について説明します。
- ⇒ License Manager の制御
- ⇒ リモート マシンからの License Manager の設定
- ⇒ License Manager 設定へのアクセスをパスワードで保護
- ⇒ 接続する License Manager の指定
- ⇒ License Manager に接続可能なユーザーの指定
- ⇒ License Manager に接続しているユーザーの表示
- ⇒ License Manager からのユーザーの切断

# License Manager の制御

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

TestComplete ライセンス サブシステムは、Sentinel LDK License Manager サービスを 使用します。これは、TestComplete ライセンスのアクティベートと、同時に実行できる TestComplete インスタンス数の制御に使用されます。 このサービスを制御するには、Sentinel Admin Control Center を使用します。これは、 このサービスによって提供される Web ページのセットです。これらのページを使用する のに、Web サーバー テクノロジは必要ありません (つまり、インターネット接続や Apache などは不要です)。

### 1. Admin Control Center を開く

次の URL から Sentinel Admin Control Center を開きます。

#### http://localhost:1947

別のマシンで License Manager を設定する権限がある場合は、このマシンの Admin Control Center を開くことができます。http://<computer-name\_or\_IP-address>:1947 のような URL を使用します。設定へのリモート アクセスを許可する方法については、 「リモート マシンからの License Manager の設定」を参照してください。

### 2. サービス設定の変更

URL を開いたら、Web インターフェイス ページを使用して Sentinel LDK License Manager サービスを設定します、一般的な作業については、このセクションのトピックか、 Web インターフェイスのヘルプを参照してください。

# リモート マシンからの License Manager の設定

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

License Manager を設定するには、Sentinel Admin Control Center を使用します。 License Manager PC で http://localhost:1947 を開いて起動します。これには、この PC への物理アクセスが必要です。

場合によっては、リモートから Admin Control Center を操作したほうが便利なことがあります。1 つの方法として、リモート デスクトップ接続を使用して License Manager PC に接続して操作できます。

別の方法として、リモート マシンからページへのアクセスを許可するように、Admin Control Center を設定することもできます。この場合、次の操作を行います。

- 1. License Manager PC に移動します。
- 2. http://localhost:1947 を Web ブラウザーで開きます。Admin Control Center が起動します。
- 3. Admin Control Center で、左側のメニューから [Configuration] を選択します。 設定ページが開きます。
- 4. Basic Settings ページで、[Allow Remote Access to ACC] チェック ボック スをオンにします。これで、設定にリモート アクセスできるようになります。

必要に応じて、Admin Control Center ページへのアクセスをパスワードで保護できます。詳細は、「License Manager 設定へのアクセスをパスワードで保護」を参照してください。

5. [Submit] をクリックして、変更を適用します。

これで、ローカル ネットワーク内のどのマシンからでも Admin Control Center にアクセ スできます。

マシンから Admin Control Center を開くには、Web ブラウザーで次の URL を開きます。

http://License\_Manager\_PC\_Name:1947

# License Manager 設定へのアクセスをパスワード で保護

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

License Manager 設定が不正に変更されるのを防ぐため、設定へのアクセスをパスワード で保護できます。このトピックでは、その方法について説明します。

# アクセスをパスワードで保護するには

1. Sentinel Admin Control Center にログインします。License Manager PC では、 次の URL を開きます。

```
http://localhost:1947
```

リモート マシンから License Manager を設定する場合は、マシンから次の URL を開きます。

http://License Manager PC Name:1947

- 2. 左側のメニューから [Configuration] を選択します。
- 3. Basic Settings タブ ページに切り替えます。
- 4. ページの下部に [Password Protection] 設定があります。設定ページのみを 保護するか、すべてのページを保護するかを選択します。

パスワードを指定するには、[Change Password] をクリックして、次のページ で任意のパスワードを設定します。

注意: デフォルトのパスワードは空の文字列です。

5. Basic Settings ページの下部にある [Submit] をクリックして、変更を保存します。

### パスワードを変更するには

- 1. Sentinel Admin Control Center にログインします。
- 2. Configuration > Basic Settings ページに移動して、[Change Password] を クリックします。
- 3. 次のページで新しいパスワードを指定します。

パスワードを削除するには、空の文字列を指定します。

### パスワードを忘れた場合

- 1. License Manager PC にログインします。
- 2. hasplm.ini ファイルを削除します。このファイルは、 <Program Files>¥ Common Files¥Alladin Shared¥HASP フォルダーにあります。
- 3. [コントロール パネル]を開いて、[管理ツール] > [サービス] に移動します。
- 4. サービスのリストで、Sentinel LDK License Manager を見つけます。
- 5. このサービスを右クリックして、コンテキスト メニューから [**再起動**] を選択し ます。

これで、Admin Control Center にアクセスできるようになります。

上記の説明は、すべての Admin Control Center 設定をデフォルトにリ セットするため、すべての設定を再度設定し直す必要があります。

### 接続する License Manager の指定

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

複数の Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを所有している場合は、 TestComplete インスタンスを接続する License Manager を指定する必要があります。 たとえば、一部のテスト担当者は Web 機能を使用し、別のテスト担当者は Mobile 機能を 使用します。

起動時に、TestComplete は、ローカル ネットワーク内のアクティベートされている License Manager を検索します。しかし、デフォルトでは、検索順序は指定されていま せん。そのため、TestComplete が接続すべきではない License Manager に接続する可 能性もあります。この問題を解決するには、接続する License Manager を指定します。

上記の説明は、すべての Admin Control Center 設定をデフォルトにリセットするため、すべての設定を再度設定し直す必要があります。

以下の手順を実行します。

- 1. TestComplete を実行するマシンに移動します。
- 2. TestComplete を閉じます。
- 3. Sentinel Admin Control Center を開きます。http://localhost:1947 を Web ブラウザーで開きます (詳細は、「License Manager の制御」を参照)。
- 4. Admin Control Center で、左側のメニューから [**Configuration**] をクリックし ます。**Configuration** ページが開きます。
- 5. Access to Remote License Managers タブ ページに移動します。
- 6. [Broadcast Search for Remote Licenses] チェック ボックスをオフにします。
- 7. **[Remote License Search Parameters]** ボックスで、License Manager PC の 検索条件を入力します。以下のいずれかを使用できます。
  - マシンの名前 (例: MyLicenseServer)
  - IP アドレス (例: 192.168.1.10)

- ブロードキャスト IP アドレス (例: 192.168.1.255)。この場合、サービスは、 検索文字列に一致する IP アドレスのマシンの中から License Manager PC を 検索します。
  - 可能であれば、マシンの名前を使用することを推奨します。これにより、 ネットワークで動的 IP アドレスを使用している場合、設定を変更する必 要がなくなります。
- 8. [Submit] をクリックして、変更を適用します。
- 9. 適切な License Manager PC に接続されることを確認します。[Sentinel Keys] をクリックして、適切な License Manager PC が追加され、このページに表示さ れることを確認します。

これで、TestComplete は、検索パラメーターで指定した License Manager PC に接続します。

複数の検索条件を指定することも可能です。[Remote License Search Parameters] ボックスにマシンの名前や IP アドレスを入力します。各検索式は別の行にする必要があります。

**注意:** 接続する License Manager を指定しなければならない理由の 1 つは、ネット ワーク内に複数の License Manager が存在する可能性があるためです。この場 合、各 TestComplete ワークステーションでアクセス権限を変更するよりも、 License Manager PC で変更したほうが簡単です。詳細は、「License Manager に接続可能なユーザーの指定」を参照してください。

### License Manager に接続可能なユーザーの指定

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

複数の Floating User (フローティング ユーザー) ライセンスを所有している場合は、 各 License Manager にアクセス可能なユーザーを指定する必要があります。

### アクセス可能なユーザーを指定するには

- 1. License Manager PC に移動します。
- 2. Sentinel Admin Control Center を開きます。http://localhost:1947 を Web ブラウザーで開きます (詳細は、「License Manager の制御」を参照)。
- 3. Admin Control Center で、左側のメニューから [**Configuration**] をクリックし ます。Configuration ページが開きます。
- 4. Users タブ ページに移動します。
- 5. **[User Restrictions]** テキスト ボックスで、License Manager への接続を許可 するユーザーまたはマシンを指定します。アクセス ルール形式でアクセス権限を 指定します。各ルールは別の行に指定する必要があります。

[User Restrictions] ボックスにマシンまたはユーザーのルールを追加するには:

- [Show Recent Users] をクリックします。TestComplete が起動され、 License Manager PC にライセンス要求があったマシンのリストが表示され ます。
- リストで、ターゲット アドレスとユーザーの [allow] または [deny] を クリックします。これで、アクセス ルールが作成され、[User Restriction] ボックスに追加されます。

手動で [User Restriction] ボックスにアクセス ルールを入力することもできま す。この方法では、[Show Recent Users] リストにないユーザーとマシンの アクセス ルールを指定できます。

アクセス ルールの形式については、以下を参照してください。

6. [Submit] をクリックして、変更を適用します。

### アクセス ルールの形式

アクセス ルールの指定には、次の形式の文字列を使用します。

allow=[Username]@[Hostname]

Username は、ユーザー アカウントの名前です。Hostname は、ユーザーが作業してい るマシンの名前または IP アドレスです。たとえば、次のルールは、ユーザー JohnSmith がマシン JohnCompto で作業する場合に License Manager への接続を許可します。

allow=JohnSmith@JohnComp

Hostname は all にすることも可能です。この場合、マシンの名前は無視され、ユーザー はどのワークステーションからでも接続を許可されます。Hostname を省略した場合も同 様になります。

allow=JohnSmith allow=JohnSmith@all

また、Username を省略したり、all にすることもできます。この場合、指定されたワークステーションで作業しているすべてのユーザーの接続が許可されます。

allow=@JohnComp allow=all@JohnComp

allow=all@all ルールは、すべての PC で作業しているすべてのユーザーの接続を許可 します。

特定のユーザーの接続を拒否するには、次の形式のルールを使用します。

deny=[Username]@[Hostname]

以下に、いくつかの例を示します。

マシン Tester で作業しているユーザー JohnSmith のアクセスを拒否します。

deny=JohnSmith@Tester

任意のマシンで作業しているユーザー JohnSmith のアクセスを拒否します。

deny=JohnSmith@all

BuilderComp マシンで作業しているすべてのユーザーのアクセスを拒否します。

deny=all@BuilderComp

allow と deny 設定を使用して、目的のフィルターを作成できます。たとえば、次の設定は、*Tester1 と Tester2* を除くすべてのユーザーに License Manager PC への接続を許可します。

```
allow=all@all
deny=Tester1@all
deny=Tester2@all
```

# License Manager に接続しているユーザーの表示

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

場合によっては、License Manager に接続しているユーザーを確認する必要があります。 この場合、次の操作を行います。

- 1. License Manager PC に移動します。
- 2. Sentinel Admin Control Center を開きます。http://localhost:1947 を Web ブラウザーで開きます (詳細は、「License Manager の制御」を参照)。
- 3. Admin Control Center で、左側のメニューから [Sessions] をクリックします。 接続しているユーザーとそのユーザーが使用している TestComplete 機能に関す る情報が表示されます。

ユーザー名は [User] カラムでも確認できます。多くの場合、接続リストは数ページあります。リストの下部にある [« prev page] ボタンと [next page »] ボタンをクリックして、リストを確認する必要があります。

リストはユーザー名でグループ化されています。ユーザー名の最初のエントリーを 見つけたら、次の行でユーザーによって使用されている機能(「taken」)を確認 できます。

特定のユーザーやマシンが接続しないように、License Manager を設定できます。手順については、「接続する License Manager の指定」を参照してください。

ユーザーを License Manager から切断するには、「License Manager からのユーザーの 切断」を参照してください。

# License Manager からのユーザーの切断

このトピックは、TestComplete 15.40 で使用されている従来のライセンスである、キー ベース ライセンスに関するものです。新しい ID ベース ライセンスについては、 SmartBear ID ベース ライセンスを参照してください。

場合によっては、License Manager に接続しているユーザーを切断する必要があります。 この場合、次の操作を行います。

- 1. License Manager PC に移動します。
- 2. Sentinel Admin Control Center を開きます。http://localhost:1947 を Web ブラウザーで開きます (詳細は、「License Manager の制御」を参照)。
- 3. Admin Control Center で、左側のメニューから [Sessions] をクリックします。 接続しているユーザーとそのユーザーが使用している TestComplete 機能に関す る情報が表示されます。[User] カラムでユーザー名と、[Feature] カラムで機能 の名前と ID を確認できます。
- リストから目的のユーザーを見つけます。リストに複数のページがある場合は、 リストの下部にある [« prev page] ボタンと [next page »] ボタンをクリック して、リストを確認する必要があります。

リストはユーザー名でグループ化されています。ユーザー名の最初のエントリーを 見つけたら、次の行でユーザーによって使用されている機能(「taken」)を確認 できます。

5. ユーザーが使用している機能ごとに、(リストの右端にある) [Actions] カラムで [Disconnect] をクリックします。

特定のユーザーやマシンが接続しないように、License Manager を設定できます。手順については、「接続する License Manager の指定」を参照してください。

# お問い合わせ先

新しいライセンスについてのご質問やサポートが必要な場合は、エクセルソフト株式会社の下記のお問い合わせページからお気軽にご連絡ください

https://www.xlsoft.com/jp/services/xlsoft\_form.html